

注3

大学番号：086

[令和2年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

大正大学 社会共生学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大正大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合政策部企画課

職名・氏名 部長・阿部 海秀
係長・福中 裕之
課員・須藤 隆史

電話番号 03-5394-3032

（夜間） 03-5394-3032

F A X 03-5394-3068

e-mail kikaku@mail.tais.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

社会共生学部

＜公共政策学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

＜社会福祉学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	42
2. 授業科目の概要	46
3. 施設・設備の整備状況、経費	50
4. 既設大学等の状況	51
5. 教員組織の状況	52
6. 附帯事項等に対する履行状況等	70
7. その他全般的事項	71

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人大正大学

(2) 大学名

大正大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒170-8470

東京都豊島区西巣鴨三丁目20番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	オカモト センジョウ 岡本 宣丈 (平成30年3月)		
学長	タカハシ シュウユウ 高橋 秀裕 (令和元年11月)		
学部長	タカハシ マサヒロ 高橋 正弘 (令和2年4月)		
学科長等	ウカワ コウ 鶴川 晃 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
社会共生学部 公共政策学科 学士（公共政策）	社会学・社会福祉学関係	年 4	人 130	年次 人	人 520	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員			人 130 (-) []	人 () () []	人 () () []	人 () () []	人 () () []	人 () () []			0.97倍		
志願者数			990 (-) () [2] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []					
受験者数			948 (-) () [2] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []					
合格者数			361 (-) () [-] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []					
B 入学者数			127 (-) () [-] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []					
入学定員超過率 B/A			0.97										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次			127 [-] (-)	0 [-] (-)							
2年次											
3年次											
4年次											
計			127 [-] (-)								

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	127 人	0 人	平成元年度	0 人	0 人	
			平成2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成2年度	人	人	
			平成3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成2年度	人	人	
			平成3年度	人	人	
			平成4年度	人	人	
令和5年度	人	人	平成2年度	人	人	
			平成3年度	人	人	
			平成4年度	人	人	
			平成5年度	人	人	
合計	127 人	0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{127} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<社会共生物学部 公共政策学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
人間	人間の探究 A-I (哲学する人間)	1①	2							兼2	
	人間の探究 A-II (哲学する人間)	1②	2							兼2	
	人間の探究 A-III (哲学する人間)	1④	2							兼2	
	人間の探究 B-I (学び方とリベラルアーツ)	1①	2							兼2	
	人間の探究 B-II (学び方とリベラルアーツ)	1②	2							兼2	
	人間の探究 B-III (学び方とリベラルアーツ)	1④	2							兼2	
	人間の探究 C-I (幸福についての人生論)	1①	2							兼2	
	人間の探究 C-II (幸福についての人生論)	1②	2							兼2	
	人間の探究 C-III (幸福についての人生論)	1④	2							兼2	
	人間の探究 D-I (仏教的な生き方について学ぶ)	1①	2							兼2	
	人間の探究 D-II (仏教的な生き方について学ぶ)	1②	2							兼2	
	人間の探究 D-III (仏教的な生き方について学ぶ)	1④	2							兼2	
	人間の探究 E-I (文学にみる近代)	1①	2							兼2	
	人間の探究 E-II (文学にみる近代)	1②	2							兼2	
人間の探究 E-III (文学にみる近代)	1④	2							兼2		
人間の探究 F-I (現代アートの人間学)	1①	2							兼2		
人間の探究 F-II (現代アートの人間学)	1②	2							兼2		
人間の探究 F-III (現代アートの人間学)	1④	2							兼2		
小計(18科目)					0	0	0	0	0	兼12	
社会	社会の探究 A-I (共生社会)	1①	2				1			兼2	
	社会の探究 A-II (共生社会)	1②	2				1			兼2	
	社会の探究 A-III (共生社会)	1④	2				1			兼2	
	社会の探究 B-I (超スマート社会の光と影)	1①	2							兼2	
	社会の探究 B-II (超スマート社会の光と影)	1②	2							兼2	
	社会の探究 B-III (超スマート社会の光と影)	1④	2							兼2	
	社会の探究 C-I (近代を問い直す)	1①	2							兼2	
	社会の探究 C-II (近代を問い直す)	1②	2							兼2	
	社会の探究 C-III (近代を問い直す)	1④	2							兼2	
	社会の探究 D-I (社会の課題を解決する力)	1①	2							兼2	
	社会の探究 D-II (社会の課題を解決する力)	1②	2							兼2	
	社会の探究 D-III (社会の課題を解決する力)	1④	2							兼2	
	社会の探究 E-I (ソーシャルメディアの言語技術)	1①	2							兼2	
	社会の探究 E-II (ソーシャルメディアの言語技術)	1②	2							兼2	
社会の探究 E-III (ソーシャルメディアの言語技術)	1④	2							兼2		
小計(15科目)		0	30	0	0	0	0	0	0	兼9	
自然	自然の探究 A-I (地域サステナビリティ)	1①	2		1					兼2	
	自然の探究 A-II (地域サステナビリティ)	1②	2		1					兼2	
	自然の探究 A-III (地域サステナビリティ)	1④	2		1					兼2	
	自然の探究 B-I (グリーンインフラ論)	1①	2		1					兼1	
	自然の探究 B-II (グリーンインフラ論)	1②	2		1					兼1	
	自然の探究 B-III (グリーンインフラ論)	1④	2		1					兼1	
	小計(6科目)		0	12	0	1	0	0	0	0	兼3
学際	学融合の実践学Ⅰ(解決力と決断力)	3③	2							兼1	
	学融合の実践学Ⅱ(解決力と決断力)	4①	2							兼1	
	学融合の実践学Ⅲ(解決力と決断力)	4②	2							兼1	
小計(3科目)		6	0	0	0	0	0	0	0	兼1	
キー・ コンピテンシー ゼミナール	データサイエンスⅠ	1①	1		1	1				兼4	
	データサイエンスⅡ	1②	1		1	1				兼4	
	データサイエンスⅢ	1④	1		1	1				兼4	
	データサイエンスⅣ	2①	1		1	1				兼4	
	データサイエンスⅤ	2②	1		1	1				兼4	
	データサイエンスⅥ	2④	1		1	1				兼4	
	小計(6科目)		6	0	0	1	1	0	0	0	兼4
	コミュニケーションⅠ	3①	1							兼1	
	コミュニケーションⅡ	3②	1							兼1	
	コミュニケーションⅢ	3④	1							兼1	
小計(3科目)		3	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
英語Ⅰ	英語Ⅰ	1①	1							兼6	
	英語Ⅱ	1②	1							兼6	
	英語Ⅲ	1④	1							兼6	
	中国語Ⅰ	1①	1							兼2	
	中国語Ⅱ	1②	1							兼2	
	中国語Ⅲ	1④	1							兼2	
	フランス語Ⅰ	1①	1							兼1	
	フランス語Ⅱ	1②	1							兼1	
	フランス語Ⅲ	1④	1							兼1	
小計(9科目)		0	9	0	0	0	0	0	0	兼9	
学部共通部門	社会共生論	1-2①	2				1			兼1	
小計(1科目)		2								兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
人間	人間の探究 A-I (哲学する人間)	1①	2							兼2		
	人間の探究 A-II (哲学する人間)	1②	2							兼2		
	人間の探究 A-III (哲学する人間)	1④	2							兼2		
	人間の探究 B-I (学び方とリベラルアーツ)	1①	2							兼2		
	人間の探究 B-II (学び方とリベラルアーツ)	1②	2							兼2		
	人間の探究 B-III (学び方とリベラルアーツ)	1④	2							兼2		
	人間の探究 C-I (幸福についての人生論)	1①	2							兼2		
	人間の探究 C-II (幸福についての人生論)	1②	2							兼2		
	人間の探究 C-III (幸福についての人生論)	1④	2							兼2		
	人間の探究 D-I (仏教的な生き方について学ぶ)	1①	2							兼2		
	人間の探究 D-II (仏教的な生き方について学ぶ)	1②	2							兼2		
	人間の探究 D-III (仏教的な生き方について学ぶ)	1④	2							兼2		
	人間の探究 E-I (文学にみる近代)	1①	2							兼2		
	人間の探究 E-II (文学にみる近代)	1②	2							兼2		
人間の探究 E-III (文学にみる近代)	1④	2							兼2			
人間の探究 F-I (現代アートの人間学)	1①	2							兼2			
人間の探究 F-II (現代アートの人間学)	1②	2							兼2			
人間の探究 F-III (現代アートの人間学)	1④	2							兼2			
小計(18科目)					0	0	0	0	0	兼12		
社会	社会の探究 A-I (共生社会)	1①	2					+		兼4 兼2 兼4		
	社会の探究 A-II (共生社会)	1②	2					+		兼4 兼2 兼4		
	社会の探究 A-III (共生社会)	1④	2					+		兼4 兼2 兼4		
	社会の探究 B-I (超スマート社会の光と影)	1①	2							兼2		
	社会の探究 B-II (超スマート社会の光と影)	1②	2							兼2		
	社会の探究 B-III (超スマート社会の光と影)	1④	2							兼2		
	社会の探究 C-I (近代を問い直す)	1①	2							兼2		
	社会の探究 C-II (近代を問い直す)	1②	2							兼2		
	社会の探究 C-III (近代を問い直す)	1④	2							兼2		
	社会の探究 D-I (社会の課題を解決する力)	1①	2							兼2		
	社会の探究 D-II (社会の課題を解決する力)	1②	2							兼2		
	社会の探究 D-III (社会の課題を解決する力)	1④	2							兼2		
	社会の探究 E-I (ソーシャルメディアの言語技術)	1①	2							兼2		
	社会の探究 E-II (ソーシャルメディアの言語技術)	1②	2							兼2		
社会の探究 E-III (ソーシャルメディアの言語技術)	1④	2							兼2			
小計(15科目)		0	30	0	0	0	0	0	0	兼9 兼9		
自然	自然の探究 A-I (地域サステナビリティ)	1①	2					+		兼6 兼2 兼6		
	自然の探究 A-II (地域サステナビリティ)	1②	2					+		兼6 兼2 兼6		
	自然の探究 A-III (地域サステナビリティ)	1④	2					+		兼6 兼2 兼6		
	自然の探究 B-I (グリーンインフラ論)	1①	2					+		兼1 兼6 兼1		
	自然の探究 B-II (グリーンインフラ論)	1②	2					+		兼1 兼6 兼1		
	自然の探究 B-III (グリーンインフラ論)	1④	2					+		兼1 兼6 兼1		
	小計(6科目)		0	12	0	+	0	0	0	0	兼12 兼9	
学際	学融合の実践学Ⅰ(解決力と決断力)	3③	2							兼1		
	学融合の実践学Ⅱ(解決力と決断力)	4①	2							兼1		
	学融合の実践学Ⅲ(解決力と決断力)	4②	2							兼1		
小計(3科目)		6	0	0	0	0	0	0	0	兼1		
キー・ コンピテンシー ゼミナール	データサイエンスⅠ	1①	1					+	+	兼6 兼4 兼6		
	データサイエンスⅡ	1②	1					+	+	兼4 兼6 兼4		
	データサイエンスⅢ	1④	1					+	+	兼4 兼6 兼4		
	データサイエンスⅣ	2①	1					1	1	兼4		
	データサイエンスⅤ	2②	1					1	1	兼4		
	データサイエンスⅥ	2④	1					1	1	兼4		
	小計(6科目)		6	0	0	+	+	+	+	0	0	兼6 兼4
	コミュニケーションⅠ	3①	1								兼1	
	コミュニケーションⅡ	3②	1								兼1	
	コミュニケーションⅢ	3④	1								兼1	
小計(3科目)		3	0	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
英語Ⅰ	英語Ⅰ	1①	1							兼14 兼6 兼14		
	英語Ⅱ	1②	1							兼14 兼6 兼14		
	英語Ⅲ	1④	1							兼14 兼6 兼14		
	中国語Ⅰ	1①	1							兼5 兼2 兼5		
	中国語Ⅱ	1②	1							兼5 兼2 兼5		
	中国語Ⅲ	1④	1							兼5 兼2 兼5		
	フランス語Ⅰ	1①	1							兼1		
	フランス語Ⅱ	1②	1							兼1		
	フランス語Ⅲ	1④	1							兼1		
小計(9科目)		0	9	0	0	0	0	0	0	0	兼17 兼9	
学部共通部門	社会共生論	1-2①	2					1		兼1		
小計(1科目)		2								兼1		

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・人間の探究B-I(学び方とリベラルアーツ)は教育効果の観点から、担当者を「岡本名津子」へ変更 ・人間の探究B-II(学び方とリベラルアーツ)は教育効果の観点から、担当者を「岡本名津子」へ変更 ・人間の探究B-III(学び方とリベラルアーツ)は教育効果の観点から、担当者を「岡本名津子」へ変更 ・人間の探究C-I(幸福についての人生論)は教育効果の観点から、担当者を「前田長子」「丹波博紀」へ変更 ・人間の探究C-II(幸福についての人生論)は教育効果の観点から、担当者を「前田長子」「丹波博紀」へ変更 ・人間の探究C-III(幸福についての人生論)は教育効果の観点から、担当者を「前田長子」「丹波博紀」へ変更 ・人間の探究D-I(仏教的な生き方について学ぶ)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更 ・人間の探究D-II(仏教的な生き方について学ぶ)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更 ・人間の探究D-III(仏教的な生き方について学ぶ)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更 ・人間の探究E-I(文学にみる近代)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「徳永直彰」へ変更 ・人間の探究E-II(文学にみる近代)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「徳永直彰」へ変更 ・人間の探究E-III(文学にみる近代)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「徳永直彰」へ変更 ・人間の探究F-I(現代アートの人間学)は教育効果の観点から、担当者を「田島悠史」、「堀上晶子」へ変更 ・人間の探究F-II(現代アートの人間学)は教育効果の観点から、担当者を「田島悠史」、「堀上晶子」へ変更 ・人間の探究F-III(現代アートの人間学)は教育効果の観点から、担当者を「田島悠史」、「堀上晶子」へ変更 ・社会の探究A-I(共生社会)は適正人数を考慮し担当者を「三木柚香」「丹波博紀」「福井敬」を追加 ・社会の探究A-II(共生社会)は適正人数を考慮し担当者を「三木柚香」「丹波博紀」「福井敬」を追加 ・社会の探究A-III(共生社会)は適正人数を考慮し担当者を「三木柚香」「丹波博紀」「福井敬」を追加 ・社会の探究C-I(近代を問い直す)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「伊藤陽平」へ変更 ・社会の探究C-II(近代を問い直す)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「伊藤陽平」へ変更 ・社会の探究C-III(近代を問い直す)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「伊藤陽平」へ変更 ・社会の探究E-I(ソーシャルメディアの言語技術)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更 ・社会の探究E-II(ソーシャルメディアの言語技術)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更 ・社会の探究E-III(ソーシャルメディアの言語技術)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更 ・自然の探究A-I(地域サステナビリティ)は適正人数を考慮し担当者を「井澤恒夫」「三木柚香」「山田俊弘」を追加 ・自然の探究A-II(地域サステナビリティ)は適正人数を考慮し担当者を「井澤恒夫」「三木柚香」「山田俊弘」を追加 ・自然の探究A-III(地域サステナビリティ)は適正人数を考慮し担当者を「井澤恒夫」「三木柚香」「山田俊弘」を追加 ・自然の探究B-I(グリーンインフラ論)は適正人数を考慮し担当者を「中塚光之介」「竹内幸哉」「服部真幸」「青田潤一」を追加 ・自然の探究B-II(グリーンインフラ論)は適正人数を考慮し担当者を「中塚光之介」「竹内幸哉」「服部真幸」「青田潤一」を追加 ・自然の探究B-III(グリーンインフラ論)は適正人数を考慮し担当者を「中塚光之介」「竹内幸哉」「服部真幸」「青田潤一」を追加 ・データサイエンスIは適正人数を考慮し担当者を「前田長子」「丹波博紀」「尾白克子」へ変更。 ・基礎ゼミナールI、基礎ゼミナールII、基礎ゼミナールIII、フィールドワークIは、「水田 健輔」就任辞任により、兼任教員として科目を担当。 ・英語Iは適正人数を考慮し担当者を「伊藤淑子」「天木勇樹」「行森まさみ」「内藤貴子」「近藤真理」「杉崎美生」「下島義容」「谷村久美子」を追加 ・英語IIは適正人数を考慮し担当者を「伊藤淑子」「天木勇樹」「行森まさみ」「内藤貴子」「近藤真理」「杉崎美生」「下島義容」「谷村久美子」を追加 ・英語IIIは適正人数を考慮し担当者を「伊藤淑子」「天木勇樹」「行森まさみ」「内藤貴子」「近藤真理」「杉崎美生」「下島義容」「谷村久美子」を追加 ・中国語Iは適正人数を考慮し担当者を「漆紅」「徐迎新」「平石淑子」を追加 ・中国語IIは適正人数を考慮し担当者を「漆紅」「徐迎新」「平石淑子」を追加 ・中国語IIIは適正人数を考慮し担当者を「漆紅」「徐迎新」「平石淑子」を追加

【令和3年度】

--

【令和4年度】

--

【令和5年度】

--

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

必修	設置時の計画			変更状況				備考
	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
63 科目	181 科目	2 科目	246 科目	63 科目 [0]	181 科目 [0]	2 科目 [0]	246 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{246} = \boxed{0\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地のうち、 21,135.55㎡は(学)佛 教教育学園から貸与 [貸与期間]H28.4から 20年間			
	校 舎 敷 地	36,415.76㎡	0㎡	0㎡	36,415.76㎡				
	運 動 場 用 地	31,428.50㎡	0㎡	0㎡	31,428.50㎡				
	小 計	67,844.26㎡	0㎡	0㎡	67,844.26㎡				
	そ の 他	5,035.94㎡	0㎡	0㎡	5,035.94㎡				
	合 計	72,880.20㎡	0㎡	0㎡	72,880.20㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		50,716㎡ (50,324 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	59,716㎡ (50,324 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設				
	77室	51室	18室	4室 (補助職員 1 人)	0室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	社会共生学部			24 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	電子ジャーナル、視聴 覚資料は大学全体で共 用	
	公共政策学科	47,266 [5,588] (45,352 [5,496])	696 [101] (696 [101])	62 [54] (62 [54])	17,335 (17,333)	0 (0)	0 (0)		
	社会福祉学科	17,374 [1,789] (16,384 [1,699])	281 [47] (281 [47])	62 [54] (62 [54])	17,335 (17,333)	0 (0)	0 (0)		
	計	64,640 [7,377] (61,736 [7,195])	977 [148] (977 [148])	62 [54] (62 [54])	17,335 (17,333)	0 (0)	0 (0)		
	(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	5,656 ㎡	428		688,167					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
		1,313 ㎡	野球場・テニスコート 等						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	共同研究費等は大学全 体
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	5,000千円	3,000千円	3,000千円	
	共 同 研 究 費 等	11,000千円	11,000千円	設 備 購 入 費	-	-	-		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,450千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、寄付金（設立宗派・同窓会・寺院関係者）、手数料 （入学検定料等）、資産運用収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	大 正 大 学								備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度
仏教学部 仏教学科	4	100	3年次 25	450 学生(仏教学)		1.09		平成22年度	東京都豊島区西巢鴨三丁目20番1号	令和2年度より編入定員増(8人)
社会共生学部 公共政策学科 社会福祉学科	4 4	130 65	— 3年次 2	130 65 学生(社会福祉学)		1.03 0.98 1.09		令和2年度 令和2年度		
人間学部 社会福祉学科 人間環境学科 臨床心理学科 人間科学科 教育人間学科	4 4 4 4 4	— — — — —	— — — — 3年次 3	240 165 — — 186 学生(人間学)		— — — — —		平成5年度 平成23年度 平成21年度 平成12年度 平成23年度		令和2年より学生募集停止 令和2年より学生募集停止 平成28年より学生募集停止 平成28年より学生募集停止 令和2年より学生募集停止 令和4年より学生募集停止
心理社会学部 人間科学科 臨床心理学科	4 4	120 110	3年次 2 3年次 2	486 450 学生(臨床心理学)		1.06 1.05 1.07		平成28年度 平成28年度		令和2年度より編入定員減(△1人) 令和2年度より編入定員増(△3人)
文学部 人文学科 日本文学科 歴史学科	4 4 4	65 70 160	3年次 2 3年次 2	271 280 646 学生(国文学)		1.04 1.02 1.03 1.08		平成22年度 平成27年度 平成15年度		平成30年度入学定員減(△5人) 令和2年度より編入定員減(△1人) 平成27年度設置70人 令和2年度より編入定員増(3人) 平成24年度入学定員増(25人) 令和2年度より編入定員増(△1人)
表現学部 表現文化学科	4	205	3年次 5	821 学生(表現文化)		1.04 1.04		平成22年度		平成30年度入学定員増(5人)
地域創生学部 地域創生学科	4	100	—	400 学生(経済学)		1.04 1.04		平成28年度		
仏教学研究科 仏教学専攻 博士前期課程 博士後期課程	2 3	30 7	— —	60 21 学生(仏教学)		0.60 0.66		平成13年度 平成13年度	東京都豊島区西巢鴨三丁目20番1号	
人間学研究科 社会福祉学専攻 修士課程 臨床心理学専攻 修士課程 人間科学専攻 修士課程 福祉・臨床心理学専攻 博士後期課程	2 2 2 3	5 18 3 3	— — — — — — — —	10 36 6 9 学生(社会福祉学)		0.70 0.80 0.00 0.11		平成13年度 平成13年度 平成13年度 平成13年度		
文学研究科 宗教学専攻 博士前期課程 博士後期課程 史学専攻 博士前期課程 博士後期課程 国文学専攻 博士前期課程 博士後期課程 比較文化専攻 博士前期課程 博士後期課程	2 3 2 2 3 2 3 2 3	5 2 10 2 3 2 3 2	— — — — — — — — — — — — —	10 6 20 6 6 6 6 6 学生(文学)		0.50 0.00 0.80 0.33 0.16 0.00 0.49 0.16		昭和27年度 昭和32年度 昭和54年度 昭和54年度 昭和27年度 昭和32年度 平成9年度 平成11年度		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<社会共生学部 公共政策学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和2年度】	【令和3年度】	【令和4年度】	【令和5年度】
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	教授	かづき 千春 (51) <令和3年4月> 修士(経営情報学)	かづき 千春 (51) <令和3年4月> 修士(経営情報学)		
	課題研究ゼミナールⅠ 課題研究ゼミナールⅡ 課題研究ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 観光まちづくり論 観光産業論 観光国際比較論 フィールドワークⅡ 卒業研究	課題研究ゼミナールⅠ 課題研究ゼミナールⅡ 課題研究ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 観光まちづくり論 観光産業論 観光国際比較論 フィールドワークⅡ 卒業研究			
専任	教授	つとむ 裕美 (62)(高) <令和2年4月> 博士(国際広報メディア学)	つとむ 裕美 (62)(高) <令和2年4月> 博士(国際広報メディア学)		
	社会学概論 公共政策のための情報学 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 卒業研究	社会学概論 公共政策のための情報学 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 卒業研究			
専任	教授	しんじ 正治 (64) <令和2年4月> 工学士	しんじ 正治 (64) <令和2年4月> 工学士		
	公共政策の基礎A(市民教育論) 公共政策の基礎B(過程論) 公共政策の基礎C(実践論) 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ フィールドワークⅢ 卒業研究	公共政策の基礎A(市民教育論) 公共政策の基礎B(過程論) 公共政策の基礎C(実践論) 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ フィールドワークⅢ 卒業研究			
専任(学部長)	教授(学部長)	たかひ 正弘 (51) <令和2年4月> 博士(環境学)	たかひ 正弘 (51) <令和2年4月> 博士(環境学)		
	環境政策基礎論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 地球環境論 環境教育論 フィールドワークⅠ フィールドワークⅢ 海外フィールドワーク 卒業研究	環境政策基礎論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 地球環境論 環境教育論 フィールドワークⅠ フィールドワークⅢ 海外フィールドワーク 卒業研究			
専任	教授	たかひ 正之 (65)(高) <令和2年4月> 修士(経済学)	たかひ 正之 (65)(高) <令和2年4月> 修士(経済学)		
	社会統計学 社会調査法 労働経済論 データサイエンスⅠ データサイエンスⅡ データサイエンスⅢ データサイエンスⅣ データサイエンスⅤ データサイエンスⅥ	社会統計学 社会調査法 労働経済論 データサイエンスⅠ データサイエンスⅡ データサイエンスⅢ データサイエンスⅣ データサイエンスⅤ データサイエンスⅥ			
専任	教授	たかひ 裕子 (50) <令和2年4月> 博士(政策科学)	たかひ 裕子 (50) <令和2年4月> 博士(政策科学)		
	公共政策原論 公共政策の基礎D(分析・評価論) 課題研究ゼミナールⅠ 課題研究ゼミナールⅡ 課題研究ゼミナールⅢ 労働政策基礎論 ダイバーシティ・マネジメント フィールドワークⅡ 卒業研究	公共政策原論 公共政策の基礎D(分析・評価論) 課題研究ゼミナールⅠ 課題研究ゼミナールⅡ 課題研究ゼミナールⅢ 労働政策基礎論 ダイバーシティ・マネジメント フィールドワークⅡ 卒業研究			
専任	教授	たかひ 尚也 (52) <令和2年4月> 修士(農学)	たかひ 尚也 (52) <令和2年4月> 修士(農学)		
	人間環境概論 フィールドワークⅡ 自然の探究A-Ⅰ(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-Ⅱ(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-Ⅲ(地球サステイナビリティ) 自然の探究B-Ⅰ(グリーンインフラ論) 自然の探究B-Ⅱ(グリーンインフラ論) 自然の探究B-Ⅲ(グリーンインフラ論) 卒業研究	人間環境概論 フィールドワークⅡ 自然の探究A-Ⅰ(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-Ⅱ(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-Ⅲ(地球サステイナビリティ) 自然の探究B-Ⅰ(グリーンインフラ論) 自然の探究B-Ⅱ(グリーンインフラ論) 自然の探究B-Ⅲ(グリーンインフラ論) 卒業研究			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	水田 健輔 (58) <令和2年4月> 修士(国際経営学)	公共政策のための財政学 経済政策基礎論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 課題研究ゼミナールⅠ 課題研究ゼミナールⅡ 課題研究ゼミナールⅢ フィールドワークⅠ フィールドワークⅡ 卒業研究	兼任	講師	水田 健輔 (58) <令和2年4月> 修士(国際経営学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ フィールドワークⅠ				
専	教授	村橋 克則 (58) <令和2年4月> 法学士	観光政策基礎論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 観光マーケティング論 観光プロモーション論 フィールドワークⅠ フィールドワークⅡ 卒業研究	専	教授	村橋 克則 (58) <令和2年4月> 法学士	観光政策基礎論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 観光マーケティング論 観光プロモーション論 フィールドワークⅠ フィールドワークⅡ 卒業研究				
専	准教授	道下 洋夫 (49) <令和2年4月> 修士(医療管理・政策学(MM A))	公共政策のための法律学 福祉政策基礎論 社会保険政策論 医療政策論 フィールドワークⅠ フィールドワークⅢ	専	准教授	道下 洋夫 (49) <令和2年4月> 修士(医療管理・政策学(MM A))	公共政策のための法律学 福祉政策基礎論 社会保険政策論 医療政策論 フィールドワークⅠ フィールドワークⅢ				
専	准教授(学部長)	輪川(小川) 晃 (48) <令和2年4月> 博士(人間学)	文化政策基礎論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 多文化共生社会論 文化とメンタルヘルス フィールドワークⅠ フィールドワークⅢ 卒業研究	専	准教授(学部長)	輪川(小川) 晃 (48) <令和2年4月> 博士(人間学)	文化政策基礎論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ 多文化共生社会論 文化とメンタルヘルス フィールドワークⅠ フィールドワークⅢ 卒業研究				
専	准教授	田島 恵美 (55) <令和2年4月> 博士(社会学)	社会統計学 社会調査法 データサイエンスⅠ データサイエンスⅡ データサイエンスⅢ データサイエンスⅣ データサイエンスⅤ データサイエンスⅥ	専	准教授	田島 恵美 (55) <令和2年4月> 博士(社会学)	社会統計学 社会調査法 データサイエンスⅠ データサイエンスⅡ データサイエンスⅢ データサイエンスⅣ データサイエンスⅤ データサイエンスⅥ				
専	准教授	本田 裕子 (40) <令和2年4月> 博士(農学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 課題研究ゼミナールⅠ 課題研究ゼミナールⅡ 課題研究ゼミナールⅢ 環境社会学 自然環境保全論 フィールドワークⅠ フィールドワークⅡ 卒業研究	専	准教授	本田 裕子 (40) <令和2年4月> 博士(農学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 課題研究ゼミナールⅠ 課題研究ゼミナールⅡ 課題研究ゼミナールⅢ 環境社会学 自然環境保全論 フィールドワークⅠ フィールドワークⅡ 卒業研究				
専	講師	高瀬 肇功 (37) <令和2年4月> 博士(文学)	社会共生論 課題研究ゼミナールⅠ 課題研究ゼミナールⅡ 課題研究ゼミナールⅢ 地域振興論 地域包括ケア論 文化資源論 フィールドワークⅡ フィールドワークⅢ 社会の探究A-Ⅰ(共生社会) 社会の探究A-Ⅱ(共生社会) 社会の探究A-Ⅲ(共生社会) 卒業研究	専	講師	高瀬 肇功 (37) <令和2年4月> 博士(文学)	社会共生論 課題研究ゼミナールⅠ 課題研究ゼミナールⅡ 課題研究ゼミナールⅢ 地域振興論 地域包括ケア論 文化資源論 フィールドワークⅡ フィールドワークⅢ 社会の探究A-Ⅰ(共生社会) 社会の探究A-Ⅱ(共生社会) 社会の探究A-Ⅲ(共生社会) 卒業研究				
専	講師	米崎 克彦 (43) <令和2年4月>	経済学概論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ フィールドワークⅢ 卒業研究	専	講師	米崎 克彦 (43) <令和2年4月>	経済学概論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅢ フィールドワークⅢ 卒業研究				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	
兼任	教授	うずaki けい 浦崎 太郎 (55) <令和3年6月> 修士(教育学)	教育政策基礎論 地域人材育成論	兼任	教授	うずaki けい 浦崎 太郎 (55) <令和3年6月> 修士(教育学)	教育政策基礎論 地域人材育成論									
兼任	教授	材木 けい 大塚 伸夫 (62) <令和2年4月> 博士(仏教学)	人間の探究D-I (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-II (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-III (仏教的な生き方に学ぶ)	兼任	教授	材木 けい 大塚 伸夫 (62) <令和2年4月> 博士(仏教学)	人間の探究D-I (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-II (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-III (仏教的な生き方に学ぶ)									
兼任	教授	おにし まゆみ 尾西 雅博 (67) <令和3年6月> 修士(人事管理・労使関係論)	公共政策のための政治学 公共政策のための行政学	専	教授	おにし まゆみ 尾西 雅博 (67) <令和2年4月> 修士(人事管理・労使関係論)	公共政策のための政治学 公共政策のための行政学									
兼任	教授	なり けい 成田 秀夫 (61) <令和2年4月> 修士(文学)	人間の探究B-I (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-II (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-III (学び方とリベラルアーツ) 学融合の実践学I (解決力と決断力) 学融合の実践学II (解決力と決断力) 学融合の実践学III (解決力と決断力) コミュニケーションI 自然の探究A-I (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-II (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-III (地球サステイナビリティ)	兼任	教授	なり けい 成田 秀夫 (61) <令和2年4月> 修士(文学)	人間の探究B-I (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-II (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-III (学び方とリベラルアーツ) 学融合の実践学I (解決力と決断力) 学融合の実践学II (解決力と決断力) 学融合の実践学III (解決力と決断力) コミュニケーションI 自然の探究A-I (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-II (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-III (地球サステイナビリティ)									
兼任	教授	ふかい けい 福井 淳 (65) <令和2年4月> 文学修士	社会の探究C-I (近代を問い直す) 社会の探究C-II (近代を問い直す) 社会の探究C-III (近代を問い直す)													
兼任	教授	やまもと まゆみ 山本 雅淑 (68) <令和2年4月> 学士(哲学)	社会の探究B-I (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-II (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-III (超スマート社会の光と影)													
兼任	准教授	うすき けい 臼木 悦生 (54) <令和2年4月> 修士(文学)	人間の探究A-I (哲学する人間) 人間の探究A-II (哲学する人間) 人間の探究A-III (哲学する人間) 社会の探究B-I (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-II (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-III (超スマート社会の光と影)													
兼任	准教授	かね けい 金子 洋二 (52) <令和2年4月> MA in Developing Area Studies	公共政策の基礎E (合意形成論)	兼任	准教授	かね けい 金子 洋二 (52) <令和3年4月> MA in Developing Area Studies	公共政策の基礎E (合意形成論)									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	カヅマ カズ 中島 和哉 (47) <令和2年4月> 学士(法学)	社会の探究E-I (ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-II (ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-III (ソーシャルメディアの言語技術)												
兼任	准教授	タカヤマ トモ 高山 仁男 (63) <令和2年4月> 理学士	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI	兼任	准教授	タカヤマ トモ 高山 仁男 (63) <令和2年4月> 理学士	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI								
兼任	准教授	ハヤシ 浩二 林 恒宏 (46) <令和3年6月> 修士(観光学)	スポーツ振興論 スポーツ政策論 スポーツツーリズム論	兼任	准教授	ハヤシ 浩二 林 恒宏 (46) <令和3年6月> 修士(観光学)	スポーツ振興論 スポーツ政策論 スポーツツーリズム論								
兼任	准教授	マツモト ヒロキ 松本 洋華 (49) <令和2年4月> 博士(歴史学)	社会の探究C-I (近代を問い直す) 社会の探究C-II (近代を問い直す) 社会の探究C-III (近代を問い直す)												
兼任	講師	サキ タツシ 佐々木 大樹 (42) <令和2年4月> 博士(仏教学)	人間の探究D-I (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-II (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-III (仏教的な生き方に学ぶ)	兼任	講師	サキ タツシ 佐々木 大樹 (42) <令和2年4月> 博士(仏教学)	人間の探究D-I (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-II (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-III (仏教的な生き方に学ぶ)								
兼任	講師	トケガキ タカフミ 徳永 直彰 (50) <令和2年4月> 修士(文化科学)	人間の探究E-I (文学にみる近代) 人間の探究E-II (文学にみる近代) 人間の探究E-III (文学にみる近代)	兼任	講師	トケガキ タカフミ 徳永 直彰 (50) <令和2年4月> 修士(文化科学)	人間の探究E-I (文学にみる近代) 人間の探究E-II (文学にみる近代) 人間の探究E-III (文学にみる近代)								
兼任	講師	ヒゲタ ユキ 日下田 岳史 (38) <令和2年4月> 博士(教育学)	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI												
兼任	助教	カヅマ ノリ 中島 紀子 (56) <令和2年4月> 修士(文学)	社会の探究E-I (ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-II (ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-III (ソーシャルメディアの言語技術)	兼任	助教	カヅマ ノリ 中島 紀子 (56) <令和2年4月> 修士(文学)	社会の探究E-I (ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-II (ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-III (ソーシャルメディアの言語技術)								
兼任	教授	タカハシ ショウゴ 高橋 秀裕 (65) <令和2年4月> 博士(学術)	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	カカカ コノノ 中塚 光之介 <令和2年4月> 学士(文学)	兼任	講師	カカカ コノノ 中塚 光之介 <令和2年4月> (50) 学士(文学)						
		担当授業科目名			担当授業科目名						
		人間の探究C-I (幸福についての人生論) 人間の探究C-II (幸福についての人生論) 人間の探究C-III (幸福についての人生論)			人間の探究C-I (幸福についての人生論) 人間の探究C-II (幸福についての人生論) 人間の探究C-III (幸福についての人生論) 人間の探究D-I (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-II (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-III (仏教的な生き方に学ぶ) 社会の探究E-I (ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-II (ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-III (ソーシャルメディアの言語技術) 自然の探究B-I (グリーンインフラ論) 自然の探究B-II (グリーンインフラ論) 自然の探究B-III (グリーンインフラ論) データサイエンスI データサイエンスII						
兼任	講師	カハ ヒロ 丹波 博紀 (40) <令和2年4月> 修士(地域研究)	兼任	講師	カハ ヒロ 丹波 博紀 <令和2年4月> (40) 修士(地域研究)						
		自然の探究A-I (地球サステナビリティ) 自然の探究A-II (地球サステナビリティ) 自然の探究A-III (地球サステナビリティ)			自然の探究A-I (地球サステナビリティ) 自然の探究A-II (地球サステナビリティ) 自然の探究A-III (地球サステナビリティ) 人間の探究C-I (幸福についての人生論) 人間の探究C-II (幸福についての人生論) 人間の探究C-III (幸福についての人生論) 社会の探究A-I (共生社会) 社会の探究A-II (共生社会) 社会の探究A-III (共生社会) データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII						
兼任	講師	カガミ ヒコ 堀上 晶子 (56) <令和2年4月> 文学士	兼任	講師	カガミ ヒコ 堀上 晶子 <令和2年4月> (56) 文学士						
		人間の探究C-I (幸福についての人生論) 人間の探究C-II (幸福についての人生論) 人間の探究C-III (幸福についての人生論)			人間の探究F-I (現代アートの人間学) 人間の探究F-II (現代アートの人間学) 人間の探究F-III (現代アートの人間学)						
兼任	講師	ヨシガ (ヨシガ) ミ 吉次(徳島) 恵美 (40) <令和2年4月> 修士(教育学)									
		人間の探究B-I (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-II (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-III (学び方とリベラルアーツ)									
兼任	講師	カガチ ユキ 竹内 幸哉 (53) <令和2年4月> 修士(情報科学)	兼任	講師	カガチ ユキ 竹内 幸哉 <令和2年4月> (53) 修士(情報科学)						
		社会の探究D-I (社会の課題を解決する力) 社会の探究D-II (社会の課題を解決する力) 社会の探究D-III (社会の課題を解決する力) コミュニケーションIII			社会の探究D-I (社会の課題を解決する力) 社会の探究D-II (社会の課題を解決する力) 社会の探究D-III (社会の課題を解決する力) コミュニケーションIII 人間の探究A-I (哲学する人間) 人間の探究A-II (哲学する人間) 人間の探究A-III (哲学する人間) 自然の探究B-I (グリーンインフラ論) 自然の探究B-II (グリーンインフラ論) 自然の探究B-III (グリーンインフラ論)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	
兼任	講師	伊ワヲ 井澤 恒夫 (54) <令和2年4月> 修士(文学)	人間の探究E-I (文学にみる近代) 人間の探究E-II (文学にみる近代) 人間の探究E-III (文学にみる近代) コミュニケーションII	兼任	講師	伊ワヲ 井澤 恒夫 <令和2年4月> (54) 修士(文学)	人間の探究E-I (文学にみる近代) 人間の探究E-II (文学にみる近代) 人間の探究E-III (文学にみる近代) コミュニケーションII 社会の探究C-I (近代を問う直す) 社会の探究C-II (近代を問う直す) 社会の探究C-III (近代を問う直す) 自然の探究A-I (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-II (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-III (地球サステイナビリティ)									
兼任	講師	秋田 万里子 (33) <令和2年4月> 修士(文学)	英語I 英語II 英語III													
兼任	講師	アラウコ サイラ (アラウコ・ウエゾ ジャケリン・サイラ) (36) 学士(文学)	フランス語I フランス語II フランス語III	兼任	講師	アラウコ サイラ (アラウコ・ウエゾ ジャケリン・サイラ) <令和2年4月> (36)	フランス語I フランス語II フランス語III									
兼任	講師	井門 隆夫 (58) <令和2年4月> 文学士	観光資源論	兼任	講師	井門 隆夫 (58) <令和3年4月> 文学士	観光資源論									
兼任	講師	石川 めぐみ (39) <令和2年4月> 修士(学術)	英語I 英語II 英語III													
兼任	講師	榎本 了孝 (73) <令和2年4月> 文学士	人間の探究F-I (現代アートの人間学) 人間の探究F-II (現代アートの人間学) 人間の探究F-III (現代アートの人間学)													
兼任	講師	大塚 道子 (65) <令和2年4月> 修士(学術)	英語I 英語II 英語III													
兼任	講師	小川 有閑 (42) <令和2年4月> 修士(宗教学)	コミュニティ政策基礎論 社会の探究A-I (共生社会) 社会の探究A-II (共生社会) 社会の探究A-III (共生社会)													
兼任	講師	牛 黎濤 (58) <令和2年4月> 博士(仏教学)	中国語I 中国語II 中国語III	兼任	講師	牛 黎濤 <令和2年4月> (58) 博士(仏教学)	中国語I 中国語II 中国語III									
兼任	講師	孔 令敬 (64) <令和2年4月> 修士(文学)	中国語I 中国語II 中国語III													
兼任	講師	杉崎 美生 (44) <令和2年4月> 修士(文学)	英語I 英語II 英語III	兼任	講師	杉崎美生 スギサキ ミキ <令和2年4月> (44)	英語I 英語II 英語III									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名					
兼任	講師	スズキ ショウタ 鈴木 正見 (57) <令和2年4月> 修士(文学)				
		人間の探究A-I (哲学する人間)				
		人間の探究A-II (哲学する人間)				
		人間の探究A-III (哲学する人間)				
兼任	講師	フジマキ 貴之 (43) <令和2年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	フジマキ 貴之 (43) <令和3年4月> 修士(心理学)	
		グローバルビジネス論			グローバルビジネス論	
兼任	講師	イハラ ジュン 市原 純 (46) <令和2年4月> 博士(国際協力学)	兼任	講師	イハラ ジュン 市原 純 (46) <令和3年4月> 博士(国際協力学)	
		脱炭素社会論			脱炭素社会論	
兼任	講師	ハシ 徹 (59) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	ハシ 徹 (59) <令和2年4月> 博士(学術)	
		環境経済学			環境経済学	
兼任	講師	ケンジダ マコ 源氏田 尚子 (52) <令和2年4月> 法学士	兼任	講師	ケンジダ マコ 源氏田 尚子 (52) <令和2年4月> 法学士	
		環境法			環境法	
兼任	講師	タナカ チヨコ 田中 ちよ子 (47) <令和2年4月> 博士(文学)				
		英語 I 英語 II 英語 III				
兼任	講師	ナカノ ユキ 中島 ゆき (51) <令和2年4月> 修士(政策学)				
		データサイエンス I データサイエンス II データサイエンス III データサイエンス IV データサイエンス V データサイエンス VI				
兼任	講師	ニガハワ ユキ 鍋川 有紀 (59) <令和2年4月> 高等学校卒				
		人間の探究F-I (現代アートの人間学)				
		人間の探究F-II (現代アートの人間学)				
		人間の探究F-III (現代アートの人間学)				
兼任	講師	マケル アラン キャドマン Michael Allan Cadman (51) <令和2年4月> 学士				
		英語 I 英語 II 英語 III				
兼任	講師	ヤマモト シゲル 山本 繁 (41) <令和2年4月> 学士(環境情報学)	兼任	講師	ヤマモト シゲル 山本 繁 (41) <令和2年4月> 環境情報学士	
		社会の探究D-I (社会の課題を解決する力)			社会の探究D-I (社会の課題を解決する力)	
		社会の探究D-II (社会の課題を解決する力)			社会の探究D-II (社会の課題を解決する力)	
		社会の探究D-III (社会の課題を解決する力)			社会の探究D-III (社会の課題を解決する力)	
兼任	講師	オオモリ ヒロシ 大森 宏 (62) <令和2年4月> 農学博士				
		自然の探究A-I (地球サステイナビリティ)				
		自然の探究A-II (地球サステイナビリティ)				
		自然の探究A-III (地球サステイナビリティ)				
兼任	講師	ハシガ しょうこ 橋田 祥子 (56) <令和2年4月> 博士(農学)				
		自然の探究B-I (グリーンインフラ論)				
		自然の探究B-II (グリーンインフラ論)				
		自然の探究B-III (グリーンインフラ論)				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
			兼任	教授	前田 長子 マエダ ナガコ <令和2年4月> (52) 学士(文学)						
					人間の探究C-I (幸福についての人生論) 人間の探究C-II (幸福についての人生論) 人間の探究C-III (幸福についての人生論) データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII						
			兼任	講師	尾白 克子 オシロ かつこ <令和2年4月> (50) 修士(工学)						
					データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII						
			兼任	講師	渡辺 隆明 ワタベ タカアキ <令和2年4月> (35) 修士(文学)						
					人間の探究A-I (哲学する人間) 人間の探究A-II (哲学する人間) 人間の探究A-III (哲学する人間)						
			兼任	講師	岡本 名津子 オカモト ナツコ <令和2年4月> (49) 修士(臨床心理学)						
					人間の探究B-I (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-II (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-III (学び方とリベラルアーツ)						
			兼任	講師	田島 悠史 タジマ ユウジ <令和2年4月> (38) 博士(政策・メディア)						
					人間の探究F-I (現代アートの人間学) 人間の探究F-II (現代アートの人間学) 人間の探究F-III (現代アートの人間学)						
			兼任	講師	三木 柚香 ミキ ユウコ <令和2年4月> (35) 修士(教育学)						
					社会の探究A-I (共生社会) 社会の探究A-II (共生社会) 社会の探究A-III (共生社会) 自然の探究A-I (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-II (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-III (地球サステイナビリティ)						
			兼任	講師	福井 敬 フクイ タカシ <令和2年4月> (32) 修士(文学)						
					社会の探究A-I (共生社会) 社会の探究A-II (共生社会) 社会の探究A-III (共生社会)						
			兼任	講師	青田 潤一 アオタ ジュンイチ <令和2年4月> (51) 修士(哲学)						
					社会の探究B-I (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-II (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-III (超スマート社会の光と影) 自然の探究B-I (グリーンインフラ論) 自然の探究B-II (グリーンインフラ論) 自然の探究B-III (グリーンインフラ論)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
			兼任	講師	深田 英孝 フカダ ヒデタカ <令和2年4月> (61) 学士(法学)						
					社会の探究B-I (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-II (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-III (超スマート社会の光と影)						
			兼任	講師	伊藤 陽平 イトウ ヨウヘイ <令和2年4月> (28) 博士(歴史学)						
					社会の探究C-I (近代を問い直す) 社会の探究C-II (近代を問い直す) 社会の探究C-III (近代を問い直す)						
			兼任	講師	山田 俊弘 ヤマダ トシヒロ <令和2年4月> (64) 博士(学術)						
					自然の探究A-I (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-II (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-III (地球サステイナビリティ)						
			兼任	講師	猪口 智広 イノクチ トモヒロ <令和2年4月> (29) 修士(学際情報学)						
					自然の探究A-I (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-II (地球サステイナビリティ) 自然の探究A-III (地球サステイナビリティ)						
			兼任	講師	服部 真幸 ハットリ マサユキ <令和2年4月> (55) 修士(農学)						
					自然の探究B-I (グリーンインフラ論) 自然の探究B-II (グリーンインフラ論) 自然の探究B-III (グリーンインフラ論)						
			兼任	講師	橋本 亜友樹 ハシモト アユキ <令和2年4月> (42) 修士(農学)						
					自然の探究B-I (グリーンインフラ論) 自然の探究B-II (グリーンインフラ論) 自然の探究B-III (グリーンインフラ論)						
			兼任	講師	角田 季美枝 ツノダ キミエ <令和2年4月> (61) 博士(学術)						
					自然の探究B-I (グリーンインフラ論) 自然の探究B-II (グリーンインフラ論) 自然の探究B-III (グリーンインフラ論)						
			兼任	教授	伊藤 淑子 イトウ ヨシコ <令和2年4月> (60) 博士(文学)						
					英語I 英語II 英語III						
			兼任	准教授	天木 勇樹 アマキ ユウキ <令和2年4月> (42) 博士(教育学)						
					英語I 英語II 英語III						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	行森まさみ ユキモリ マサミ <令和2年4月> (44) 博士(異文化コミュニケーション学)									
					英語 I 英語 II 英語 III									
			兼任	講師	香原ちさと コウハラ チサト <令和2年4月> (60) 学士(英文学)									
					英語 I 英語 II 英語 III									
			兼任	講師	ケビンスコット <令和2年4月> (34) 修士(英文学)									
					英語 I 英語 II 英語 III									
			兼任	講師	レスリーコーブランド <令和2年4月> (46) 学士(心理学及び英語学)									
					英語 I 英語 II 英語 III									
			兼任	講師	保谷朋子 ホヤ トモコ <令和2年4月> (34) 修士(文学)									
					英語 I 英語 II 英語 III									
			兼任	講師	谷村久美子 タニムラ クミコ <令和2年4月> (61) 修士(哲学)									
					英語 I 英語 II 英語 III									
			兼任	講師	マークストーンブグ <令和2年4月> (52) 修士(MBA)									
					英語 I 英語 II 英語 III									
			兼任	講師	田野尻哲郎 タジリ テツロウ <令和2年4月> (54) 修士(学術)									
					英語 I 英語 II 英語 III									
			兼任	講師	内藤貴子 ナイトウ タカコ <令和2年4月> (44) 修士(文学)									
					英語 I 英語 II 英語 III									
			兼任	講師	近藤真理 コンドウ マリ <令和2年4月> (35) 修士(文学)									
					英語 I 英語 II 英語 III									
			兼任	講師	杉崎美生 スギザキ ミキ <令和2年4月> (44) 修士(文学)									
					英語 I 英語 II 英語 III									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	下島義容 シモジマ ヨシタカ <令和2年4月> (47) 修士(言語教育)						
					英語 I 英語 II 英語 III						
			兼任	講師	漆紅 チン ホイ <令和2年4月> (62) 博士(文学)						
					中国語 I 中国語 II 中国語 III						
			兼任	講師	徐迎新 ジョー ゲイシン <令和2年4月> (64) 修士(文学)						
					中国語 I 中国語 II 中国語 III						
			兼任	講師	平石淑子 ヒライシ ヨシコ <令和2年4月> (68) 修士(文学)						
					中国語 I 中国語 II 中国語 III						
			兼任	講師	都馬ナブチ トバ ナブチ <令和2年4月> (55) 修士(文学)						
					中国語 I 中国語 II 中国語 III						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**属可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	水田健輔	R2.4	選択	経済政策基礎論	①	教員の一身上の都合により就任辞退（未就任）（2）						
				必修	基礎ゼミナールⅠ	②							
				必修	基礎ゼミナールⅡ	②							
				必修	基礎ゼミナールⅢ	②							
				必修	課題研究ゼミナールⅠ	①							
				必修	課題研究ゼミナールⅡ	①							
				必修	課題研究ゼミナールⅢ	①							
				必修	フィールドワークⅠ	②							
			必修	フィールドワークⅡ	①								
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	8	科目	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	5	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0	人	必修		科目	必修		科目	必修		科目	必修		科目
		選択		科目	選択		科目	選択		科目	選択		科目
		自由		科目	自由		科目	自由		科目	自由		科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	8	科目	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	5	科目	計	4	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{15} = \boxed{6.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退者が担当予定であった科目は全て後任教員が担当するため、学生の履修等に影響はない。加えて、開設年度の前年度の就任辞退であったため、特別な周知は行っていない。後任者を令和2年度採用予定。(2)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・水田健輔教授就任辞退。
- ・尾西雅博教授が令和2年4月に就任。兼任（令和3年6月就任）から専任（令和2年4月）に変更。

【令和3年度】

--

【令和4年度】

--

【令和5年度】

--

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	4	2	0	15	0	8	4	2	0	14	0
(8)	(4)	(2)	(2)	(0)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	4	2	0	15	0	9	4	2	0	15	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{14} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和元年)	完成年度前に、定年規程の定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項 公共政策学科設置に伴う定年延長措置はあくまで例外的な措置である。今後の運用に当たっては、適切な定年制度の運用を図っていく。また、年齢構成の高齢化を改善していくために計画的な教員採用を行っていく。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜社会共生学部 公共政策学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
第1・第2クォーター(4/6～7/23)。	新型コロナウイルス感染への対応のため第1・第2クォーターを(4/6～7/23)から(5/11～9/19)へ変更し、5/11～7/18をオンライン授業期間、8/31～9/19を対面授業期間とした。(P31,P32参照)この学事日程変更に伴い、シラバスも変更した。また、社会情勢を鑑み第3クォーターに予定しているフィールドワークⅠも授業内容等が変更になる場合がある。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>①総合学修支援機構DAC</p> <p>②学生生活委員会障がい学生支援部会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>①総合学修支援機構副機構長、学長補佐、総合学修支援機構職員3名、総合学修支援機構顧問</p> <p>②学長補佐、各学部教員1名、入試課・教務課・学生課・就職課・図書情報課職員各1名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>①教育改善のためのファカルティ・ディベロップメント(FD)の推進</p> <p>②障がい有する学生の支援に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回全学FDセミナー「学習理論を基盤にした授業設計」 ・第7回全学FDセミナー「シラバス研修会」「著作権研修会」ワークショップ及び講演 ・学生相談室から見た相談と支援の現状について <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ及び講演(外部講師による全教員・事務職員対象(任意参加)の研修会実施) ・外部講師による講演・ワークショップの他、教学マネジメント体制・危機管理・研究支援等の説明。 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8回全学FDセミナー「学習理論を基盤にした授業設計」 令和元年5月29日(水) 15:00～17:30 125名 ・第9回全学FDセミナー「成績評価基準について」 令和元年11月27日(水) 15:00～17:30 134名 ・学生相談室から見た相談と支援の現状について 令和元年12月18日(水) 10:50～12:20 27名 ・新任教員FD研修会 令和2年3月3日(火)・3月4日(水) 10:00～17:00 17名
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

翌年度の授業設計、成績評価等について、シラバス記入を含めて各教員が改善を行うように学科会議等において検討していくこととなった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学における、学生による授業評価アンケートは、組織的なFD活動の一環として実施。

このアンケートはPDCAサイクルのCheck部分にあたり、授業毎の具体的な効果や問題点を把握し、教育改善に役立てていくことを目的とする。

(実施期間)

- ・第1クォーター：令和元年5月28日(火)～6月10日(月)
- ・第2クォーター・セメスター(春学期)：令和元年7月11日(木)～8月5日(月)
- ・秋学期・第4クォーター：令和2年1月6日(月)～1月27日(月)

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施済みアンケート用紙を委託事業者が回収し、集計する。

集計結果は教員配付用資料として、委託事業者より各教員へ郵送するとともに、冊子にまとめて刊行の上、教員に配付している。

教育に関する評価部会において実際の教育活動に資する具体的なフィードバック方法の検討や、次年度実施に向けての改善点に関する検討が行われている。

学生をはじめとした社会への公開については、本アンケートの趣旨、実施要項、調査票を明示した上、ホームページにおいて集計結果を公表している。

なお、学生には、学習ポータルサイト(T-po)における周知・連絡も実施している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人間学部の改組を行い、社会共生学部を設置する。大学の理念・目的に照らしながら、人間学部において設定していた目的や養成する人材像を、昨今の社会構造の変化や求めに則した目的に刷新し、社会共生の理念の下で社会や地域が抱える諸課題を解決に導く人材を育成する予定である。社会共生学部は、社会や地域におけるさまざまな公共的課題を解決するための方法や技術を学ぶ公共政策学科と、医療・福祉・教育など幅広い分野で支援を必要としている人の相談・援助を行うソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士）を養成する社会福祉学科の2学科として、上記理念を踏まえた募集活動を行い、公共政策学科は127名の学生を受け入れた。本学科が目指す人材育成像と教育目標が、受験生に評価された結果であると考えている。今後は、届出時の教育内容を確実に履行し、上記の設置の趣旨・目的の達成を目指す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年3月26日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公表 (<https://www.tais.ac.jp/common/doc/guide/estimation/jikotenken-2019.pdf>)。
- ・大学自己点検・評価委員会及びメールによる事務連絡（全教職員対象）において公表を周知。

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和2年に評価機関（大学基準協会）の評価を受審する予定であり、令和2年3月27日に評価資料を提出した。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

令和2年度 授業日程表

・緑色○印の数字がセメスター制授業日程
 ・青色○印の数字がクォーター制授業日程

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	RE 25	在学生健診 26	在学生健診 27	院G 28
29	在学生学科別G 30	31				

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	RE 16	17	18	19
20	21	22	在学生G 23	24	25	① ① 26
27	① ① 28	① ① 29	① ① 30			

日	月	火	水	木	金	土
			入学式 1	基礎学力編入G 2	新入生G 3	新入生健診 4
5	新入生G 6	新入生G 7	新入生G 8	① ① 9	① ① 10	① ① 11
12	① ① 13	① ① 14	① ① 15	② ② 16	② ② 17	② ② 18
19	② ② 20	② ② 21	② ② 22	③ ③ 23	③ ③ 24	③ ③ 25
26	③ ③ 27	③ ③ 28	③ ③ 29	休講日 30		

日	月	火	水	木	金	土
				① ① 1	① ① 2	② ② 3
4	② ② 5	② ② 6	② ② 7	② ② 8	② ② 9	③ ③ 10
11	③ ③ 12	③ ③ 13	③ ③ 14	③ ③ 15	③ ③ 16	④ ④ 17
18	④ ④ 19	④ ④ 20	④ ④ 21	④ ④ 22	④ ④ 23	⑤ ⑤ 24
25	⑤ ⑤ 26	⑤ ⑤ 27	⑤ ⑤ 28	⑤ ⑤ 29	⑤ ⑤ 30	⑥ ⑥ 31

日	月	火	水	木	金	土
					休講日 1	休講日 2
3	4	5	6	④ ④ 7	④ ④ 8	④ ④ 9
10	④ ④ 11	④ ④ 12	④ ④ 13	⑤ ⑤ 14	⑤ ⑤ 15	⑤ ⑤ 16
17	⑤ ⑤ 18	⑤ ⑤ 19	⑤ ⑤ 20	⑥ ⑥ 21	⑥ ⑥ 22	⑥ ⑥ 23
24	⑥ ⑥ 25	⑥ ⑥ 26	⑥ ⑥ 27	⑦ ⑦ 28	⑦ ⑦ 29	⑦ ⑦ 30
31						

日	月	火	水	木	金	土
1	⑥ ⑥ 2	⑥ ⑥ 3	⑥ ⑥ 4	⑥ ⑥ 5	⑥ ⑥ 6	⑦ ⑦ 7
8	⑦ ⑦ 9	⑦ ⑦ 10	⑦ ⑦ 11	⑦ ⑦ 12	⑦ ⑦ 13	⑧ ⑧ 14
15	⑧ ⑧ 16	休講日 17	休講日 18	休講日 19	休講日 20	鴨台祭 21
鴨台祭 22	補講日 23	⑧ ⑧ 24	⑧ ⑧ 25	⑧ ⑧ 26	⑧ ⑧ 27	⑨ ⑨ 追試験日 28
29	⑨ ⑨ 30					

日	月	火	水	木	金	土
	⑦ ⑦ 1	⑦ ⑦ 2	⑦ ⑦ 3	補講日 4	⑧ ⑧ 5	⑧ ⑧ 6
7	⑧ ⑧ 8	⑧ ⑧ 9	⑧ ⑧ 10	⑧ ⑧ 11	⑨ ⑨ 12	⑨ ⑨ 追試験日 13
14	⑨ ⑨ 15	⑨ ⑨ 16	⑨ ⑨ 17	⑨ ⑨ 18	⑩ ⑩ 19	⑩ ⑩ 20
21	⑩ ⑩ 22	⑩ ⑩ 23	⑩ ⑩ 24	⑩ ⑩ 25	⑪ ⑪ 26	⑪ ⑪ 27
28	⑪ ⑪ 29	⑪ ⑪ 30				

日	月	火	水	木	金	土
		⑨ ⑨ 1	⑨ ⑨ 2	⑨ ⑨ 3	⑨ ⑨ 4	⑩ ⑩ 成績締切 5
6	⑩ ⑩ 7	⑩ ⑩ 8	⑩ ⑩ 9	⑩ ⑩ 10	⑩ ⑩ 11	⑪ ⑪ 12
13	⑪ ⑪ 14	⑪ ⑪ 15	⑪ ⑪ 16	⑪ ⑪ 17	⑪ ⑪ 18	⑫ ⑫ 19
20	⑫ ⑫ 21	⑫ ⑫ 22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
			⑪ ⑪ 1	⑪ ⑪ 2	⑫ ⑫ 3	⑫ ⑫ 4
5	⑫ ⑫ 6	⑫ ⑫ 7	⑫ ⑫ 8	⑫ ⑫ 9	⑬ ⑬ 10	⑬ ⑬ 11
12	⑬ ⑬ 13	⑬ ⑬ 14	⑬ ⑬ 15	⑬ ⑬ 16	⑭ ⑭ 17	⑭ ⑭ 18
19	⑭ ⑭ 20	⑭ ⑭ 21	⑭ ⑭ 22	⑭ ⑭ 23	補講日 24	25
26	27	28	29	追試験日 30	31	

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	⑫ ⑫ 6	⑫ ⑫ 7	⑫ ⑫ 8	⑬ ⑬ 9
10	11	⑬ ⑬ 12	⑬ ⑬ 13	⑬ ⑬ 14	⑬ ⑬ 15	休講日 16
17	⑬ ⑬ 18	⑭ ⑭ 19	⑭ ⑭ 20	⑭ ⑭ 21	⑭ ⑭ 22	⑭ ⑭ 23
24	⑭ ⑭ 25	補講日 26	補講日 口述試問 27	口述試問 28	口述試問 29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	成績締切 7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	追試験日 4	5	6
7	成績締切 8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

【備考】

冬期休業期間(12/24~1/5)は授業期間として計上しない。

※入学式、入試日、健康診断日、ガイダンス日は現在調整中のため、変更する場合があります。

【祝日開講】

- ・4月29日(昭和の日)
- ・7月23日(海の日)
- ・7月24日(スポーツの日)
- ・11月3日(文化の日)
- ・11月23日(勤労感謝の日)

【集中講義期間】

・9月10日~9月25日

令和2年度 授業日程表【改訂版】

・緑色○印の数字がセメスター制授業日程
 ・青色○印の数字がクォーター制授業日程

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
		④ ⑪ 1	④ ⑪ 2	④ ⑪ 3	④ ⑪ 4	④ ⑪ 5
6	⑤ ⑫ 7	⑤ ⑫ 8	⑤ ⑫ 9	⑤ ⑫ 10	⑤ ⑫ 11	⑤ ⑫ 12
13	⑥ ⑬ 14	⑥ ⑬ 15	⑥ ⑬ 16	⑥ ⑬ 17	⑥ ⑬ 18	⑥ ⑬ 19
20	21	22	在学生G 23	24	25	① ① 26
27	① ① 28	① ① 29	① ① 30			

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
				① ① 1	① ① 2	② ② 3
4	② ② 5	② ② 6	② ② 7	② ② 8	② ② 9	③ ③ 10
11	③ ③ 12	③ ③ 13	③ ③ 14	③ ③ 15	③ ③ 16	④ ④ 17
18	④ ④ 19	④ ④ 20	④ ④ 21	④ ④ 22	④ ④ 23	⑤ ⑤ 24
25	⑤ ⑤ 26	⑤ ⑤ 27	⑤ ⑤ 28	⑤ ⑤ 29	⑤ ⑤ 30	⑥ ⑥ 31

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	① ① 11	① ① 12	① ① 13	① ① 14	① ① 15	① ① 16
17	② ② 18	② ② 19	② ② 20	② ② 21	② ② 22	② ② 23
24	③ ③ 25	③ ③ 26	③ ③ 27	③ ③ 28	③ ③ 29	③ ③ 30
31						

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	⑥ ⑥ 2	⑥ ⑥ 3	⑥ ⑥ 4	⑥ ⑥ 5	⑥ ⑥ 6	⑦ ⑦ 7
8	⑦ ⑦ 9	⑦ ⑦ 10	⑦ ⑦ 11	⑦ ⑦ 12	⑦ ⑦ 13	① ⑧ 14
15	① ⑧ 16	17	18	19	20	21
22	23	① ⑧ 24	① ⑧ 25	① ⑧ 26	① ⑧ 27	② ⑨ 28
29	② ⑨ 30					

6月

日	月	火	水	木	金	土
	④ ④ 1	④ ④ 2	④ ④ 3	④ ④ 4	④ ④ 5	④ ④ 6
7	⑤ ⑤ 8	⑤ ⑤ 9	⑤ ⑤ 10	⑤ ⑤ 11	⑤ ⑤ 12	⑤ ⑤ 13
14	⑥ ⑥ 15	⑥ ⑥ 16	⑥ ⑥ 17	⑥ ⑥ 18	⑥ ⑥ 19	⑥ ⑥ 20
21	⑦ ⑦ 22	⑦ ⑦ 23	⑦ ⑦ 24	⑦ ⑦ 25	⑦ ⑦ 26	⑦ ⑦ 27
28	① ⑧ 29	① ⑧ 30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
		② ⑨ 1	② ⑨ 2	② ⑨ 3	② ⑨ 4	③ ⑩ 5
6	③ ⑩ 7	③ ⑩ 8	③ ⑩ 9	③ ⑩ 10	③ ⑩ 11	④ ⑪ 12
13	④ ⑪ 14	④ ⑪ 15	④ ⑪ 16	④ ⑪ 17	④ ⑪ 18	⑤ ⑫ 19
20	⑤ ⑫ 21	⑤ ⑫ 22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

7月

日	月	火	水	木	金	土
			① ⑧ 1	① ⑧ 2	① ⑧ 3	① ⑧ 4
5	② ⑨ 6	② ⑨ 7	② ⑨ 8	② ⑨ 9	② ⑨ 10	② ⑨ 11
12	③ ⑩ 13	③ ⑩ 14	③ ⑩ 15	③ ⑩ 16	③ ⑩ 17	③ ⑩ 18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	⑤ ⑫ 6	⑤ ⑫ 7	⑤ ⑫ 8	⑥ ⑬ 9
10	11	⑥ ⑬ 12	⑥ ⑬ 13	⑥ ⑬ 14	⑥ ⑬ 15	16
17	⑥ ⑬ 18	⑦ ⑭ 19	⑦ ⑭ 20	⑦ ⑭ 21	⑦ ⑭ 22	⑦ ⑭ 23
24	⑦ ⑭ 25	26	27	28	29	30
31						

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	④ ⑪ 31					

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

【祝日開講】
 ・11月3日(文化の日)
 ・11月23日(勤労感謝の日)

【集中講義期間】
 期間については調整中

5月11日から7月18日 オンライン授業
 8月31日から9月19日 通常授業

●授業時間割

1時限	100分	09:00~10:40
2時限	100分	10:50~12:30
昼休み	50分	12:30~13:20
3時限	100分	13:20~15:00
4時限	100分	15:10~16:50
5時限	50分	17:00~17:50
	(50分)	17:50~18:40
N1	100分	18:00~19:40
N2	100分	19:50~21:30

5時限目は50分+50分の授業を行う場合があります。

N1・N2は大学院科目開講時間

総合学修支援機構DAC規程

令和元年7月1日
改正 令和元年11月1日

目次

- 第1条 (趣旨)
- 第2条 (目的)
- 第3条 (所管業務)
- 第4条 (検証・評価)
- 第5条 (組織)
- 第6条 (機構長)
- 第7条 (副機構長)
- 第8条 (職員)
- 第9条 (顧問)
- 第10条 (客員教員)
- 第11条 (客員研究員)
- 第12条 (管理・運営)
- 第13条 (DAC運営協議会)
- 第14条 (管掌)
- 第15条 (改廃)

附則

(趣旨)

第1条 この規程は、大正大学学則第9条の3の規定に基づき、総合学修支援機構DAC(以下「本機構」という。)の組織及び運営について定める。

(目的)

第2条 本機構は、大正大学(以下「本学」という。)の建学の理念、教育ビジョン及び運営ビジョン具現化のため、学内外を問わず多様な人々が共に学ぶ共同体(ダイバーシティ・エージェンシー・コミュニティ)を構築し、地域や企業等との連携による学修環境(ダイバーシティ・アライアンス・センター)を提供することによって、本学の社会的責任(TSR)に基づく教育活動に寄与することを目的とする。

(所管業務)

第3条 本機構は、第2条に定められた目的に基づき、以下の業務を所管する。

- (1) 第I類カリキュラムの企画及び運営
- (2) チューターの養成及び運用
- (3) ラーニングコモンズの活用推進
- (4) 基礎学力の養成
- (5) アントレプレナーシップ教育の企画及び運営
- (6) DACポートフォリオの開発及び運用

(7) 教育改善のためのファカルティ・ディベロップメント(FD)の推進

(8) その他必要と認められるもの

(検証・評価)

第4条 本機構は、本学学則第2条に基づき、第3条に定める所管業務について、TSRマネジメントによる自己点検・評価を行うものとする。

2 自己点検・評価結果の概要は、原則として公表するものとする。

3 自己点検・評価結果の妥当性と客観性を高めるため、外部評価委員会の意見を聴取することができる。

4 自己点検・評価の具体的な運営、方法並びに外部評価委員会については、別に定める。

(組織)

第5条 本機構に、チュートリアル研究室、コミュニケーション研究室及び基礎学力研究室を置く。

2 チュートリアル研究室は、主に第3条第1号、第2号、第3号の業務を所管する。

3 コミュニケーション研究室は、主に第3条第5号の業務を所管する。

4 基礎学力研究室は、主に第3条第1号、第4号の業務を所管する。

(機構長)

第6条 本機構に、機構長を置く。

2 機構長は、学長をもって充てる。

3 機構長は、本機構を代表し、本機構を総理する。

4 機構長の任期は、学長の在任期間とする。

(副機構長)

第7条 本機構に、副機構長を置くことができる。

2 副機構長は、機構長が指名する者をもって充てる。

3 副機構長は、機構長の職務を補佐する。

4 副機構長の任期は、指名した機構長の在任期間とし、再任を妨げない。

(職員)

第8条 第5条の各研究室に次の職員を置く。

(1) 研究室長 各1名

(2) 教育職員 若干名

(3) 研究員 若干名

(4) チューター 若干名

2 前項第1号の職員は、本学専任教職員のうちから機構長が推薦し、理事長が任命する。

3 第1項第1号の職員にあつては、教育職員の場合は教授、事務職員の場合は原則として総合学修支援部長が兼担する。

4 第1項第2号の教育職員は、大正大学教員任免規程に基づき任免する。

5 第1項第3号の研究員の任免については、別に定める。

6 第1項第4号のチューターの任免については、別に定める。

7 第1項第1号の職員の任期は2年とし、再任は妨げない。ただし、任命されたときの機構長のもとでの再任は、当該機構長の任期内に限るものとする。また、任期中に交代したときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第9条 本機構は、第3条、第5条の各号に定める事項を実施するにあたり、その運営に関する助言を得るため、顧問を置くことができる。顧問は、機構長の推薦により理事長が任命する。

(客員教員)

第10条 本機構に、客員教員を置くことができる。

2 前項の客員教員の任免は、大正大学教員任免規程及び大正大学客員教員規程による。

(客員研究員)

第11条 本機構に、客員研究員を置くことができる。

2 前項の客員研究員の任免は、別に定める。

(管理・運営)

第12条 本機構の総合的な管理・運営は、事務局長が統括する。

(DAC運営協議会)

第13条 本機構に、活動計画、組織・人事及び予算作成等の重要事項について審議するための組織としてDAC運営協議会を置き、次の各号に掲げる者をもって構成する。

(1) 学長室会議構成員

(2) 第7条第1項の職員

(3) 第8条第1項第1号の職員

(4) 総合政策部長

(5) 総務部長

(6) 教務部長

(7) 総合学修支援部長

(8) その他機構長が認めた者

2 機構長は、必要に応じて構成員以外の教職員を出席させることができる。

3 大正大学魅力化総合戦略推進本部規程に基づき、第3次中期マスタープランの推進に関する事項については、大正大学魅力化総合戦略推進本部に報告するものとする。

(管掌)

第14条 この規程の事務管掌は、総合学修支援部総合学修支援課が行う。

(改廃)

第15条 この規程の改廃は、代議員会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、令和元年7月1日より施行する。

附 則

この規程は、令和元年11月1日より施行する。

大正大学教授会各種委員会規程

平成5年4月1日

改正 平成7年4月1日 平成8年4月1日

平成9年4月1日 平成11年4月1日

平成13年4月1日 平成13年11月28日

平成14年12月10日 平成17年4月1日

平成19年4月1日 平成20年4月1日

平成24年4月1日 平成25年4月1日

平成27年4月1日 平成28年4月1日

第1条 この規程は、大正大学教授会規程第10条第2項によりこれを定める。

第2条 各種委員会(以下「委員会」という。)は教授会において選出された委員をもって構成する。構成については別表による。

第3条 委員会は学長の諮問事項及び教授会からの付託事項を審議する。

第4条 委員会には委員長、副委員長各1名を置く。

2 委員長及び副委員長は委員の互選とする。

3 委員長は委員会を招集し、その座長となる。

4 委員長に事故があったときは副委員長がこれを代行する。

第5条 委員会は過半数の委員の出席をもって成立する。

2 委員会の決定は、出席委員の過半数の賛成をもって成立する。ただし、教員資格審査委員会については別に定める。

第6条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、原則2期までとする。

2 補充委員の任期は前任者の残任期間とする。

第7条 委員会に部会を置くことができる。

2 部会には部会長、副部会長各1名を置く。

3 部会長は部会を招集し、その座長となる。

4 部会長に事故があったときは副部会長がこれを代行する。

第8条 教員資格審査委員会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。

(1) 教員の資格審査に関する事項

(2) その他必要な事項

第9条 学生生活委員会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。

(1) 学生の生活相談・保健に関する事項

(2) 学生の福利厚生に関する事項

(3) 学生の課外活動に関する事項

(4) 奨学生推薦に関する事項

(5) 学生の褒賞に関する事項

(6) 学生の綱紀に関する事項

(7) その他必要な事項

第10条 宗教教育・行事運営委員会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 宗門子弟の教育及び実践仏教に関する事項
- (2) 宗教教育及び宗教行事に関する事項
- (3) その他必要な事項

2 宗教教育・行事運営委員会に、同和教育運営部会を置く。

- (1) 同和教育運営部会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。
 - (イ) 同和教育に関する事項
 - (ロ) その他必要な事項

第11条 国際交流委員会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 国外留学を志望する学生の指導及び準備教育
- (2) 協定留学生の指導
- (3) 短期語学研修生及び文化研修生の指導
- (4) 協定校との国際学術交流会議の企画・運営
- (5) 大正大学奨学・奨励制度規程第2条第4号、第5号の奨学生の選考
- (6) その他、国際交流のうえで必要と認められる事項

第12条 学術委員会は次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 学術研究発表に関する事項
- (2) 大学院研究論集発行に関する事項
- (3) 大正大学研究紀要の発行に関する事項
- (4) その他必要な事項

2 前項第2号及び第3号については、別に定める規程による。

第13条 情報化推進委員会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 大学における教育・研究の情報化のための基盤整備並びに実施に関する事項
- (2) 大学における事務情報化の具体的な計画に関する事項
- (3) 学内各部局の行う情報処理業務への提言に関する事項
- (4) 第1号、第3号に関わる予算計画に関する事項
- (5) 大学が設置する情報処理環境の不正使用並びに情報漏洩防止に関する事項
- (6) その他必要な事項

第14条 入試委員会は次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 入試制度に関する事項
- (2) 学生募集・入試広報に関する事項
- (3) 入試の試験問題の出題、作成及び採点に関する事項
- (4) 入試の実施に関する事項
- (5) その他必要な事項

第15条 図書館運営委員会は次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 図書館の運営、制度及び図書館諸規則に関する事項
- (2) 図書館の事業計画・予算に関する事項

(3) 学科図書予算の執行・選書に関する事項

(4) その他必要な事項

第16条 教職員衛生管理厚生委員会は次の事項を審議し、必要事項を処理する。

(1) 大学の衛生管理に関する事項

(2) 教職員の待遇に関する事項

(3) 教職員の福利及び厚生に関する事項

(4) 教職員の親睦に関する事項

(5) その他必要な事項

2 前項第1号については、別に定める規程による。

第17条 出版会編集委員会は次の事項を審議し、必要事項を処理する。

(1) 出版会会長の諮問に関する事項

(2) 企画に関する事項

(3) その他、出版物に関する事項

第18条 委員長は、委員会の審議結果を学長に報告し、学長は、代議員会の議を経て処理する。

第19条 各種委員会の事務は、事務局において分掌する。

2 議事録は所管の事務局において作成保管しなければならない。

第20条 この規程の改廃は、代議員会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年11月28日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年12月10日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 従前の「教職課程委員会」は廃止する。

附 則

この規程は、平成 20 年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 24 年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 25 年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 27 年4月1日から施行する。

別表

委員会名称	構成員
教員資格審査委員会	各学科に所属する専任教員から各1名。
学生生活委員会	各学科に所属する専任教員から各1名。
宗教教育・行事運営委員会	仏教学部は、各宗派から1名。仏教学部以外は、各学部に所属する専任教員から各1名。
国際交流委員会	日本文学科長、仏教学科長、日本語教育担当教員若干名、海外交流協定校担当教員若干名。
学術委員会	各学部に所属する専任教員から各1名(大学院講義担当有資格者)。
情報化推進委員会	各学部に所属する専任教員から各1名。
入試委員会	各学科に所属する専任教員から各1名。
図書館運営委員会	各学部に所属する専任教員から各1名。
教職員衛生管理厚生委員会	各学部に所属する専任教員から各1名。労働安全衛生法に定められた者1名。
出版会編集委員会	本学専任教員の学術・教育・出版等について経験と識見を有する者若干名。

備考

上記教員選出委員のほか、次の各委員会に事務職員から選出の委員を加え、その構成員とする。()内はその委員数

宗教教育・行事運営委員会(2)、国際交流委員会(2)、学術委員会(2)、情報化推進委員会(6)、入試委員会(2)、図書館運営委員会(2)、教職員衛生管理厚生委員会(2)。

大正大学障がい学生支援部会細則

平成 27 年4月1日

改正 平成 28 年4月1日 平成 28 年6月1日

令和元年7月1日

目 次

第1条 (目的)

第2条 (構成)

第3条 (審議事項)

第4条 (任期)

第5条 (招集・開催・成立)

第6条

第7条

第8条 (管掌)

第9条 (改廃)

附 則

(目的)

第1条 この細則は、大正大学教授会各種委員会規程(以下「委員会規程」という。)第 7 条に基づき、委員会規程第 9 条に定める学生生活委員会の所管する大正大学(以下「本学」という。)の学生支援のうち、特に障がいを有する学生の支援について審議を行う障がい学生支援部会(以下「部会」という。)について必要な事項を定めるものとする。

(構成)

第2条 部会は、学長が指名する本学役職者及び学生生活委員並びに担当部局職員をもって構成する。

- (1) 本学役職者 若干名
- (2) 学生生活委員 各学部 1 名
- (3) 総合政策部入試課職員 1 名
- (4) 教務部職員 1 名
- (5) 学生支援部学生課職員 1 名
- (6) 学生支援部就職課職員 1 名
- (7) 学術推進部図書情報課職員 1 名

2 委員会規程第 7 条第 2 項に定める部会長、副部会長は学長が指名する。

3 部会長は、必要に応じてほかの教職員の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(審議事項)

第3条 部会は、次の事項を審議する。

- (1) 障がいを有する受験生の受入れ体制に関する事項
- (2) 障がいを有する学生の支援に関する事項
- (3) 啓発活動に関する事項

(4) その他障がい有する学生に関する事項

(任期)

第4条 学長が指名する本学役職者の部会における任期は、当該役職の在任期間とする。

2 部会長、副部会長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、部会長、副部会長が任期途中で退任した場合、後任者の任期は、その残任期間とする。

3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(招集・開催・成立)

第5条 部会は、部会長が招集し、主催する。

2 部会長に支障があったときは、副部会長が代行する。

第6条 部会は、必要に応じて随時開催する。

第7条 部会は、過半数の委員の出席をもって成立する。

2 部会の決定は、出席委員の過半数の賛成をもって成立する。

(管掌)

第8条 この細則の事務管掌は、学生支援部学生課が行う。

(改廃)

第9条 この細則の改廃は、学長が行う。

附 則

この細則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成28年6月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和元年7月1日から施行する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人大正大学

(2) 大学名

大正大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒170-8470

東京都豊島区西巣鴨三丁目20番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オカモト センジョウ) 岡本 宣丈 (平成30年3月)		
学長	(タカハシ シュウユウ) 高橋 秀裕 (令和元年11月)		
学部長	(タカハシ マサヒロ) 高橋 正弘 (令和元年4月)		
学科長等	(カミヤマ ヒロミ) 神山 裕美 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
社会共生物学部 社会福祉学科 学士（社会福祉学）	社会学・社会福祉学関係	年 4	人 65	年次 2人	人 264	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員			人 65 (2) [-]	人 () () [] []	人 () () [] []	人 () () [] []	人 () () [] []	人 () () [] []	人 () () [] []	人 () () [] []	1.09倍		
志願者数			494 (-) (-) [2] [-]	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []			
受験者数			467 (-) (-) [2] [-]	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []			
合格者数			201 (-) (-) [1] [-]	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []			
B 入学者数			71 (-) (-) [1] [-]	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []			
入学定員超過率 B/A			1.09										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	71 [-] (-)		0 [-] (-)		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
					()	()	()	()	()	()	
2 年次	[] ()		[] ()		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
					()	()	()	()	()	()	
3 年次	[] ()		[] ()		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
					()	()	()	()	()	()	
4 年次	[] ()		[] ()		[] ()		[]	[]	[]	[]	
							()	()	()	()	()
計	71 [-] (-)		[] ()		[] ()		[] ()		[] ()		

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	71 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{71} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{\#REF!}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<社会共生学部 社会福祉学科>

(1) ① 授業科目表

【配時又は履出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間	人間の探究A-I(哲学する人間)	1①	2								兼2
	人間の探究A-II(哲学する人間)	1②	2								兼2
	人間の探究A-III(哲学する人間)	1④	2								兼2
	人間の探究B-I(学び方とリベラルアーツ)	1①	2								兼2
	人間の探究B-II(学び方とリベラルアーツ)	1②	2								兼2
	人間の探究B-III(学び方とリベラルアーツ)	1④	2								兼2
	人間の探究C-I(幸福についての人生論)	1①	2								兼2
	人間の探究C-II(幸福についての人生論)	1②	2								兼2
	人間の探究C-III(幸福についての人生論)	1④	2								兼2
	人間の探究D-I(仏教的な生き方について学ぶ)	1①	2								兼2
	人間の探究D-II(仏教的な生き方について学ぶ)	1②	2								兼2
	人間の探究D-III(仏教的な生き方について学ぶ)	1④	2								兼2
	人間の探究E-I(文学にみる近代)	1①	2								兼2
	人間の探究E-II(文学にみる近代)	1②	2								兼2
	人間の探究E-III(文学にみる近代)	1④	2								兼2
	人間の探究F-I(現代アートの人間学)	1①	2								兼2
	人間の探究F-II(現代アートの人間学)	1②	2								兼2
	人間の探究F-III(現代アートの人間学)	1④	2								兼2
小計(18科目)						0	0	0	0	0	兼12
社会	社会の探究A-I(共生社会)	1①	2								兼2
	社会の探究A-II(共生社会)	1②	2								兼2
	社会の探究A-III(共生社会)	1④	2								兼2
	社会の探究B-I(超スマート社会の光と影)	1①	2								兼2
	社会の探究B-II(超スマート社会の光と影)	1②	2								兼2
	社会の探究B-III(超スマート社会の光と影)	1④	2								兼2
	社会の探究C-I(近代を問い直す)	1①	2								兼2
	社会の探究C-II(近代を問い直す)	1②	2								兼2
	社会の探究C-III(近代を問い直す)	1④	2								兼2
	社会の探究D-I(社会の課題を解決する力)	1①	2								兼2
	社会の探究D-II(社会の課題を解決する力)	1②	2								兼2
	社会の探究D-III(社会の課題を解決する力)	1④	2								兼2
	社会の探究E-I(ソーシャルメディアの言語技術)	1①	2								兼2
	社会の探究E-II(ソーシャルメディアの言語技術)	1②	2								兼2
社会の探究E-III(ソーシャルメディアの言語技術)	1④	2								兼2	
小計(15科目)			0	30	0	0	0	0	0	0	兼9
自然	自然の探究A-I(地域サステナビリティ)	1①	2		1						兼2
	自然の探究A-II(地域サステナビリティ)	1②	2		1						兼2
	自然の探究A-III(地域サステナビリティ)	1④	2		1						兼2
	自然の探究B-I(グリーンインフラ論)	1①	2		1						兼1
	自然の探究B-II(グリーンインフラ論)	1②	2		1						兼1
	自然の探究B-III(グリーンインフラ論)	1④	2		1						兼1
	小計(6科目)			0	12	0	1	0	0	0	0
学際	学融合の実践学I(解決力と決断力)	3④	2								兼1
	学融合の実践学II(解決力と決断力)	4①	2								兼1
	学融合の実践学III(解決力と決断力)	4②	2								兼1
	小計(3科目)			6	0	0	0	0	0	0	0
キー・コンピュータリテラシーゼミナール	データサイエンスI	1①	1		1	1					兼4
	データサイエンスII	1②	1		1	1					兼4
	データサイエンスIII	1④	1		1	1					兼4
	データサイエンスIV	2①	1		1	1					兼4
	データサイエンスV	2②	1		1	1					兼4
	データサイエンスVI	2③	1		1	1					兼4
	小計(6科目)			6	0	0	1	1	0	0	0
コミュニケーションI	コミュニケーションI	3①	1								兼1
	コミュニケーションII	3②	1								兼1
	コミュニケーションIII	3③	1								兼1
小計(3科目)			3	0	0	0	0	0	0	0	兼3
英語I	英語I	1①	1								兼6
	英語II	1②	1								兼6
	英語III	1④	1								兼6
	中国語I	1①	1								兼2
	中国語II	1②	1								兼2
	中国語III	1④	1								兼2
	フランス語I	1①	1								兼1
	フランス語II	1②	1								兼1
	フランス語III	1④	1								兼1
小計(9科目)			0	9	0	0	0	0	0	0	兼9

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間	人間の探究A-I(哲学する人間)	1①	2								兼2		
	人間の探究A-II(哲学する人間)	1②	2								兼2		
	人間の探究A-III(哲学する人間)	1④	2								兼2		
	人間の探究B-I(学び方とリベラルアーツ)	1①	2								兼2		
	人間の探究B-II(学び方とリベラルアーツ)	1②	2								兼2		
	人間の探究B-III(学び方とリベラルアーツ)	1④	2								兼2		
	人間の探究C-I(幸福についての人生論)	1①	2								兼2		
	人間の探究C-II(幸福についての人生論)	1②	2								兼2		
	人間の探究C-III(幸福についての人生論)	1④	2								兼2		
	人間の探究D-I(仏教的な生き方について学ぶ)	1①	2								兼2		
	人間の探究D-II(仏教的な生き方について学ぶ)	1②	2								兼2		
	人間の探究D-III(仏教的な生き方について学ぶ)	1④	2								兼2		
	人間の探究E-I(文学にみる近代)	1①	2								兼2		
	人間の探究E-II(文学にみる近代)	1②	2								兼2		
	人間の探究E-III(文学にみる近代)	1④	2								兼2		
	人間の探究F-I(現代アートの人間学)	1①	2								兼2		
	人間の探究F-II(現代アートの人間学)	1②	2								兼2		
	人間の探究F-III(現代アートの人間学)	1④	2								兼2		
小計(18科目)								0	0	0	0	0	兼12
社会	社会の探究A-I(共生社会)	1①	2								兼4		
	社会の探究A-II(共生社会)	1②	2								兼4		
	社会の探究A-III(共生社会)	1④	2								兼4		
	社会の探究B-I(超スマート社会の光と影)	1①	2								兼2		
	社会の探究B-II(超スマート社会の光と影)	1②	2								兼2		
	社会の探究B-III(超スマート社会の光と影)	1④	2								兼2		
	社会の探究C-I(近代を問い直す)	1①	2								兼2		
	社会の探究C-II(近代を問い直す)	1②	2								兼2		
	社会の探究C-III(近代を問い直す)	1④	2								兼2		
	社会の探究D-I(社会の課題を解決する力)	1①	2								兼2		
	社会の探究D-II(社会の課題を解決する力)	1②	2								兼2		
	社会の探究D-III(社会の課題を解決する力)	1④	2								兼2		
	社会の探究E-I(ソーシャルメディアの言語技術)	1①	2								兼2		
	社会の探究E-II(ソーシャルメディアの言語技術)	1②	2								兼2		
社会の探究E-III(ソーシャルメディアの言語技術)	1④	2								兼2			
小計(15科目)			0	30	0	0	0	0	0	0	0	兼9	
自然	自然の探究A-I(地域サステナビリティ)	1①	2								兼6		
	自然の探究A-II(地域サステナビリティ)	1②	2								兼6		
	自然の探究A-III(地域サステナビリティ)	1④	2								兼6		
	自然の探究B-I(グリーンインフラ論)	1①	2								兼6		
	自然の探究B-II(グリーンインフラ論)	1②	2								兼6		
	自然の探究B-III(グリーンインフラ論)	1④	2								兼6		
	小計(6科目)			0	12	0	1	0	0	0	0	0	兼3
学際	学融合の実践学I(解決力と決断力)	3④	2								兼1		
	学融合の実践学II(解決力と決断力)	4①	2								兼1		
	学融合の実践学III(解決力と決断力)	4②	2								兼1		
	小計(3科目)			6	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1
キー・コンピュータリテラシーゼミナール	データサイエンスI	1①	1								兼6		
	データサイエンスII	1②	1								兼6		
	データサイエンスIII	1④	1								兼6		
	データサイエンスIV	2①	1								兼4		
	データサイエンスV	2②	1								兼4		
	データサイエンスVI	2③	1								兼4		
	小計(6科目)			6	6	0	1	1	0	0	0	0	兼4
コミュニケーションI	コミュニケーションI	3①	1								兼1		
	コミュニケーションII	3②	1								兼1		
	コミュニケーションIII	3③	1								兼1		
小計(3科目)			3	3	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
英語I	英語I	1①	1								兼14		
	英語II	1②	1								兼14		
	英語III	1④	1								兼14		
	中国語I	1①	1								兼5		
	中国語II	1②	1								兼5		
	中国語III	1④	1								兼5		
	フランス語I	1①	1								兼1		
	フランス語II	1②	1								兼1		
	フランス語III	1④	1								兼1		
小計(9科目)			0	9	0	0	1	1	1	0	0	兼9	

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・人間の探究B-I(学び方とリベラルアーツ)は教育効果の観点から、担当者を「岡本名津子」へ変更 ・人間の探究B-II(学び方とリベラルアーツ)は教育効果の観点から、担当者を「岡本名津子」へ変更 ・人間の探究B-III(学び方とリベラルアーツ)は教育効果の観点から、担当者を「岡本名津子」へ変更 ・人間の探究C-I(幸福についての人生論)は教育効果の観点から、担当者を「前田長子」「丹波博紀」へ変更 ・人間の探究C-II(幸福についての人生論)は教育効果の観点から、担当者を「前田長子」「丹波博紀」へ変更 ・人間の探究C-III(幸福についての人生論)は教育効果の観点から、担当者を「前田長子」「丹波博紀」へ変更 ・人間の探究D-I(仏教的な生き方について学ぶ)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更 ・人間の探究D-II(仏教的な生き方について学ぶ)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更 ・人間の探究D-III(仏教的な生き方について学ぶ)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更 ・人間の探究E-I(文学にみる近代)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「徳永直彰」へ変更 ・人間の探究E-II(文学にみる近代)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「徳永直彰」へ変更 ・人間の探究E-III(文学にみる近代)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「徳永直彰」へ変更 ・人間の探究F-I(現代アートの人間学)は教育効果の観点から、担当者を「田島悠史」、「堀上晶子」へ変更 ・人間の探究F-II(現代アートの人間学)は教育効果の観点から、担当者を「田島悠史」、「堀上晶子」へ変更 ・人間の探究F-III(現代アートの人間学)は教育効果の観点から、担当者を「田島悠史」、「堀上晶子」へ変更 ・社会の探究A-I(共生社会)は適正人数を考慮し担当者を「三木柚香」「丹波博紀」「福井敬」を追加 ・社会の探究A-II(共生社会)は適正人数を考慮し担当者を「三木柚香」「丹波博紀」「福井敬」を追加 ・社会の探究A-III(共生社会)は適正人数を考慮し担当者を「三木柚香」「丹波博紀」「福井敬」を追加 ・社会の探究C-I(近代を問い直す)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「伊藤陽平」へ変更 ・社会の探究C-II(近代を問い直す)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「伊藤陽平」へ変更 ・社会の探究C-III(近代を問い直す)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「伊藤陽平」へ変更 ・社会の探究E-I(ソーシャルメディアの言語技術)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」、「へ変更 ・社会の探究E-II(ソーシャルメディアの言語技術)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」、「へ変更 ・社会の探究E-III(ソーシャルメディアの言語技術)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」、「へ変更 ・自然の探究A-I(地域サステナビリティ)は適正人数を考慮し担当者を「井澤恒夫」「三木柚香」「山田俊弘」を追加 ・自然の探究A-II(地域サステナビリティ)は適正人数を考慮し担当者を「井澤恒夫」「三木柚香」「山田俊弘」を追加 ・自然の探究A-III(地域サステナビリティ)は適正人数を考慮し担当者を「井澤恒夫」「三木柚香」「山田俊弘」を追加 ・自然の探究B-I(グリーンインフラ論)は適正人数を考慮し担当者を「中塚光之介」「竹内幸哉」「服部真幸」「青田潤一」を追加 ・自然の探究B-II(グリーンインフラ論)は適正人数を考慮し担当者を「中塚光之介」「竹内幸哉」「服部真幸」「青田潤一」を追加 ・自然の探究B-III(グリーンインフラ論)は適正人数を考慮し担当者を「中塚光之介」「竹内幸哉」「服部真幸」「青田潤一」を追加 ・データサイエンスI・II・III・IV・V・VI、コミュニケーションI・II・IIIは第I類科目内での幅広い履修を促すために「必修」から「選択」へ変更 ・データサイエンスIは適正人数を考慮し担当者を「前田長子」「丹波博紀」「尾白克子」「中塚光之介」を追加 ・データサイエンスIIは適正人数を考慮し担当者を「前田長子」「丹波博紀」「尾白克子」「中塚光之介」を追加 ・データサイエンスIIIは適正人数を考慮し担当者を「前田長子」「丹波博紀」「尾白克子」「中塚光之介」を追加 ・英語Iは適正人数を考慮し担当者を「伊藤淑子」「天木勇樹」「行森まさみ」「内藤貴子」「近藤真理」「杉崎美生」「下島義容」「谷村久美子」を追加 ・英語IIは適正人数を考慮し担当者を「伊藤淑子」「天木勇樹」「行森まさみ」「内藤貴子」「近藤真理」「杉崎美生」「下島義容」「谷村久美子」を追加 ・英語IIIは適正人数を考慮し担当者を「伊藤淑子」「天木勇樹」「行森まさみ」「内藤貴子」「近藤真理」「杉崎美生」「下島義容」「谷村久美子」を追加 ・中国語Iは適正人数を考慮し担当者を「漆紅」「徐迎新」「平石淑子」を追加 ・中国語IIは適正人数を考慮し担当者を「漆紅」「徐迎新」「平石淑子」を追加 ・中国語IIIは適正人数を考慮し担当者を「漆紅」「徐迎新」「平石淑子」を追加
--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

--

【令和5年度】

--

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
19 科目	117 科目	0 科目	136 科目	19 科目	117 科目	0 科目	136 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{126} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地のうち、 21,135.55㎡は(学)佛 教教育学園から貸与 [貸与期間]H28.4から 20年間			
	校 舎 敷 地	36,415.76㎡	0㎡	0㎡	36,415.76㎡				
	運 動 場 用 地	31,428.50㎡	0㎡	0㎡	31,428.50㎡				
	小 計	67,844.26㎡	0㎡	0㎡	67,844.26㎡				
	そ の 他	5,035.94㎡	0㎡	0㎡	5,035.94㎡				
	合 計	72,880.20㎡	0㎡	0㎡	72,880.20㎡				
(2) 校 舎	専 用	50,716㎡	0㎡	0㎡	59,716㎡	大学全体			
	(50,324 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(50,324 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	77室	51室	18室	4室 (補助職員 1 人)	0室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	社会共生学部			24 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	電子ジャーナル、視聴 覚資料は大学全体で共 用	
	公共政策学科	47,266〔 5,588 〕 (45,352 〔 5,496 〕)	696〔 101 〕 (696 〔101〕)	62〔 54 〕 (62〔 54 〕)	17,335 (17,333)	0 (0)	0 (0)		
	社会福祉学科	17,374〔 1,789 〕 (16,384 〔 1,699 〕)	281〔 47 〕 (281 〔 47 〕)	62〔 54 〕 (62〔 54 〕)	17,335 (17,333)	0 (0)	0 (0)		
	計	64,640〔 7,377 〕 (61,736 〔 7,195 〕)	977〔 148 〕 (977 〔 148 〕)	62〔 54 〕 (62〔 54 〕)	17,335 (17,333)	0 (0)	0 (0)		
	(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	5,656 ㎡	428		688,167					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	1,313 ㎡	野球場・テニスコート 等							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は大学全 体
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	5,000千円	3,000千円	3,000千円	
	共 同 研 究 費 等	11,000千円	11,000千円	設備購入費	-	-	-		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
	1,450千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金（設立宗派・同窓会・寺院関係者）、手数料 （入学検定料等）、資産運用収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	大 正 大 学							備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度
仏教学部 仏教学科	4	100	3年次 25	450 学生(仏教学)		1.09		平成22年度	東京都豊島区西巢鴨三丁目20番1号	令和2年度より編入定員増(8人)
社会共生学部 公共政策学科 社会福祉学科	4 4	130 65	— 3年次 2	130 学生(公共政策学) 65 学生(社会福祉学)		1.03 0.98 1.09		令和2年度 令和2年度		
人間学部 社会福祉学科 人間環境学科 臨床心理学科 人間科学科 教育人間学科	4 4 4 4 4	— — — — —	— — — — 3年次 3	240 学生(社会福祉学) 165 学生(人間環境学) — 学生(臨床心理学) — 学生(人間科学) 186 学生(教育人間学)		— — — — — —		平成5年度 平成23年度 平成21年度 平成12年度 平成23年度		令和2年より学生募集停止 令和2年より学生募集停止 平成28年より学生募集停止 平成28年より学生募集停止 令和2年より学生募集停止 令和4年より学生募集停止
心理社会学部 人間科学科 臨床心理学科	4 4	120 110	3年次 2 3年次 2	486 学生(人間科学) 450 学生(臨床心理学)		1.06 1.05 1.07		平成28年度 平成28年度		令和2年度より編入定員減(△1人) 令和2年度より編入定員増(△3人)
文学部 人文学科 日本文学科 歴史学科	4 4 4	65 70	3年次 2 3年次 2	271 学生(人文学) 280 学生(日本文学) 646 学生(歴史学)		1.04 1.02 1.03 1.08		平成22年度 平成27年度 平成15年度		平成30年度入学定員減(△5人) 令和2年度より編入定員減(△1人) 平成27年度設置70人 令和2年度より編入定員増(3人) 平成24年度入学定員増(25人) 令和2年度より編入定員増(△1人)
表現学部 表現文化学科	4	205	3年次 5	821 学生(表現文化)		1.04 1.04		平成22年度		平成30年度入学定員増(5人)
地域創生学部 地域創生学科	4	100	—	400 学生(経済学)		1.04 1.04		平成28年度		
仏教学研究科 仏教学専攻 博士前期課程 博士後期課程	2 3	30 7	— —	60 学生(仏教学) 21 博士(仏教学)		0.60 0.66		平成13年度 平成13年度	東京都豊島区西巢鴨三丁目20番1号	
人間学研究科 社会福祉学専攻 修士課程 臨床心理学専攻 修士課程 人間科学専攻 修士課程 福祉・臨床心理学専攻 博士後期課程	2 2 2 3	5 18 3 3	— — — — — — — —	10 学生(社会福祉学) 36 学生(臨床心理学) 6 学生(人間科学) 9 博士(人間学)		0.70 0.80 0.00 0.11		平成13年度 平成13年度 平成13年度 平成13年度		
文学研究科 宗教学専攻 博士前期課程 博士後期課程 史学専攻 博士前期課程 博士後期課程 国文学専攻 博士前期課程 博士後期課程 比較文化専攻 博士前期課程 博士後期課程	2 3 2 2 3 2 3 2 3	5 2 10 2 3 2 3 2	— — — — — — — — — — — — —	10 博士(文学) 6 博士(文学) 20 博士(文学) 6 博士(文学) 6 博士(文学) 6 博士(文学) 6 博士(文学) 6 博士(文学)		0.50 0.00 0.80 0.33 0.16 0.00 0.49 0.16		昭和27年度 昭和32年度 昭和54年度 昭和54年度 昭和27年度 昭和32年度 平成9年度 平成11年度		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<社会共生学部 社会福祉学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授(学長)	あしや ひろみ 神山 裕美 <令和2年4月> (58) 博士(社会福祉学)	社会福祉基礎実践 ソーシャルワーク論V ソーシャルワーク論VI 地域福祉論II コミュニティソーシャルワーク論 ソーシャルワーク実習VI ソーシャルワーク実習指導I ソーシャルワーク実習指導II ソーシャルワーク実習I ソーシャルワーク実習II プロジェクト研究I プロジェクト研究II プロジェクト研究III プロジェクト研究IV 卒業論文 卒業研究	専任	教授(学長)	あしや ひろみ 神山 裕美 <令和2年4月> (58) 博士(社会福祉学)	社会福祉基礎実践 ソーシャルワーク論V ソーシャルワーク論VI 地域福祉論II コミュニティソーシャルワーク論 ソーシャルワーク実習VI ソーシャルワーク実習指導I ソーシャルワーク実習指導II ソーシャルワーク実習I ソーシャルワーク実習II プロジェクト研究I プロジェクト研究II プロジェクト研究III プロジェクト研究IV 卒業論文 卒業研究	専任				専任			
専任	教授	むらたけ けい 沖倉 智美 <令和2年4月> (51) 博士(人間福祉)	基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールII ソーシャルワーク論II 障害者福祉論 ソーシャルワーク実習I ソーシャルワーク実習III ソーシャルワーク実習IV プロジェクト研究I プロジェクト研究II プロジェクト研究III プロジェクト研究IV 卒業論文 卒業研究	専任	教授	むらたけ けい 沖倉 智美 <令和2年4月> (51) 博士(人間福祉)	基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールII ソーシャルワーク論II 障害者福祉論 ソーシャルワーク実習I ソーシャルワーク実習III ソーシャルワーク実習IV プロジェクト研究I プロジェクト研究II プロジェクト研究III プロジェクト研究IV 卒業論文 卒業研究	専任				専任			
専任	教授	みやま きみこ 宮崎 牧子 <令和2年4月> (58) 修士(社会学)	社会福祉原論I 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールII 地域福祉論I 高齢者福祉論 プロジェクト研究I プロジェクト研究II プロジェクト研究III プロジェクト研究IV インターンシップI インターンシップII 卒業論文 卒業研究	専任	教授	みやま きみこ 宮崎 牧子 <令和2年4月> (58) 修士(社会学)	社会福祉原論I 基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールII 地域福祉論I 高齢者福祉論 プロジェクト研究I プロジェクト研究II プロジェクト研究III プロジェクト研究IV インターンシップI インターンシップII 卒業論文 卒業研究	専任				専任			
専任		じん じゅい 金 深 <令和2年4月> (51) 博士(文学)	基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールII 社会福祉入門 社会福祉基礎実践 児童福祉論 ソーシャルワーク実習II ソーシャルワーク実習指導I ソーシャルワーク実習指導II ソーシャルワーク実習I プロジェクト研究I プロジェクト研究II プロジェクト研究III プロジェクト研究IV 卒業論文 卒業研究	専任		じん じゅい 金 深 <令和2年4月> (51) 博士(文学)	基礎ゼミナールI 基礎ゼミナールII 社会福祉入門 社会福祉基礎実践 児童福祉論 ソーシャルワーク実習II ソーシャルワーク実習指導I ソーシャルワーク実習指導II ソーシャルワーク実習I プロジェクト研究I プロジェクト研究II プロジェクト研究III プロジェクト研究IV 卒業論文 卒業研究	専任				専任			
専任	教授	しば ちかお 新保 祐光 <令和2年4月> (46) 博士(社会福祉学)	社会福祉基礎実践 ソーシャルワーク論III 医療福祉論 医療ソーシャルワーク論 ソーシャルワーク実習VII ソーシャルワーク実習指導I ソーシャルワーク実習指導II ソーシャルワーク実習I ソーシャルワーク実習II 精神保健福祉援助実習I 精神保健福祉援助実習II プロジェクト研究I プロジェクト研究II プロジェクト研究III プロジェクト研究IV 卒業論文 卒業研究	専任	教授	しば ちかお 新保 祐光 <令和2年4月> (46) 博士(社会福祉学)	社会福祉基礎実践 ソーシャルワーク論III 医療福祉論 医療ソーシャルワーク論 ソーシャルワーク実習VII ソーシャルワーク実習指導I ソーシャルワーク実習指導II ソーシャルワーク実習I ソーシャルワーク実習II 精神保健福祉援助実習I 精神保健福祉援助実習II プロジェクト研究I プロジェクト研究II プロジェクト研究III プロジェクト研究IV 卒業論文 卒業研究	専任				専任			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名					
専任	准教授	マモト 仔細 松本 一郎 <令和2年4月> (51) 博士(社会福祉学)	マモト 仔細 松本 一郎 <令和2年4月> (51) 博士(社会福祉学)			
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 社会福祉基礎実践 社会保険論Ⅰ 社会保険論Ⅱ 現代貧困論 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ プロジェクト研究Ⅲ プロジェクト研究Ⅳ 卒業論文 卒業研究	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 社会福祉基礎実践 社会保険論Ⅰ 社会保険論Ⅱ 現代貧困論 ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ プロジェクト研究Ⅲ プロジェクト研究Ⅳ 卒業論文 卒業研究			
専任	講師	かみ けい 田橋 恵子 <令和3年4月> (57) 修士(社会福祉学)	かみ けい 田橋 恵子 <令和3年4月> (57) 修士(社会福祉学)			
		社会福祉特講Ⅰ 社会福祉特講Ⅱ 社会福祉特講Ⅲ	社会福祉特講Ⅰ 社会福祉特講Ⅱ 社会福祉特講Ⅲ			
兼任	教授	かみ けい 高橋 一弘 <令和3年4月>	かみ けい 高橋 一弘 <令和3年4月>			
		社会福祉基礎実践 社会福祉原論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅵ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ	社会福祉基礎実践 社会福祉原論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅵ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ			
兼任	教授	つげい 勉 落合 崇志 <令和2年4月> (63) 修士(社会学)	つげい 勉 落合 崇志 <令和2年4月> (63) 修士(社会学)			
		仏教社会福祉論	仏教社会福祉論			
兼任	教授	コノウ オサ 近藤 直司 <令和3年9月> (57) 医学士	コノウ オサ 近藤 直司 <令和3年9月> (57) 医学士			
		精神疾患とその治療	精神疾患とその治療			
兼任	准教授	つげり み 柳田 多美 <令和2年9月> (45) 博士(文学)	つげり み 柳田 多美 <令和2年9月> (45) 博士(文学)			
		心理学	心理学			
兼任	講師	かた けん 高瀬 顕功 <令和2年4月> (37) 博士(文学)	かた けん 高瀬 顕功 <令和2年4月> (37) 博士(文学)			
		社会共生論 社会の探究A-Ⅰ(共生社会) 社会の探究A-Ⅱ(共生社会) 社会の探究A-Ⅲ(共生社会)	社会共生論 社会の探究A-Ⅰ(共生社会) 社会の探究A-Ⅱ(共生社会) 社会の探究A-Ⅲ(共生社会)			
兼任	准教授	カネ イチ 白木 悦生 <令和2年4月> (54) 修士(文学)				
		人間の探究A-Ⅰ(哲学する人間) 人間の探究A-Ⅱ(哲学する人間) 人間の探究A-Ⅲ(哲学する人間) 社会の探究B-Ⅰ(超スマート社会の光と影) 社会の探究B-Ⅱ(超スマート社会の光と影) 社会の探究B-Ⅲ(超スマート社会の光と影)				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	
兼任	教授	片岡 ヒロオ 成田 秀夫 <令和2年4月> (61) 修士(文学)	人間の探究B-I (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-II (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-III (学び方とリベラルアーツ) 学融合の実践学I (解決力と決断力) 学融合の実践学II (解決力と決断力) 学融合の実践学III (解決力と決断力) コミュニケーションI	兼任	教授	片岡 ヒロオ 成田 秀夫 <令和2年4月> (61) 修士(文学)	人間の探究B-I (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-II (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-III (学び方とリベラルアーツ) 学融合の実践学I (解決力と決断力) 学融合の実践学II (解決力と決断力) 学融合の実践学III (解決力と決断力) コミュニケーションI 自然の探究A-I (地球サステナビリティ) 自然の探究A-II (地球サステナビリティ) 自然の探究A-III (地球サステナビリティ)									
兼任	教授	ヤマモト マサヨ 山本 雅湖 <令和2年4月> (68) 学士(哲学)	社会の探究B-I (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-II (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-III (超スマート社会の光と影)													
兼任	教授	村坊 フリオ 大塚 俊夫 <令和2年4月> (62) 博士(仏教学)	人間の探究D-I (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-II (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-III (仏教的な生き方に学ぶ)													
兼任	講師	ササキ ダイジ 佐々木 大樹 <令和2年4月> (42) 博士(仏教学)	人間の探究D-I (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-II (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-III (仏教的な生き方に学ぶ)	兼任	講師	ササキ ダイジ 佐々木 大樹 <令和2年4月> (42) 博士(仏教学)	人間の探究D-I (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-II (仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-III (仏教的な生き方に学ぶ)									
兼任	講師	トシガキ タカフミ 徳永 直彰 <令和2年4月> (50) 修士(文化科学)	人間の探究E-I (文学にみる近代) 人間の探究E-II (文学にみる近代) 人間の探究E-III (文学にみる近代)	兼任	講師	トシガキ タカフミ 徳永 直彰 <令和2年4月> (50) 修士(文化科学)	人間の探究E-I (文学にみる近代) 人間の探究E-II (文学にみる近代) 人間の探究E-III (文学にみる近代)									
兼任	講師	イヅリ 恒夫 井澤 恒夫 <令和2年4月> (54) 修士(文学)	人間の探究E-I (文学にみる近代) 人間の探究E-II (文学にみる近代) 人間の探究E-III (文学にみる近代) コミュニケーションII	兼任	講師	イヅリ 恒夫 井澤 恒夫 <令和2年4月> (54) 修士(文学)	人間の探究E-I (文学にみる近代) 人間の探究E-II (文学にみる近代) 人間の探究E-III (文学にみる近代) コミュニケーションII 社会の探究C-I (近代を問い直す) 社会の探究C-II (近代を問い直す) 社会の探究C-III (近代を問い直す) 自然の探究A-I (地球サステナビリティ) 自然の探究A-II (地球サステナビリティ) 自然の探究A-III (地球サステナビリティ)									
兼任	教授	フカイ 77 福井 77 <令和2年4月> (65) 文学修士	社会の探究C-I (近代を問い直す) 社会の探究C-II (近代を問い直す) 社会の探究C-III (近代を問い直す)													

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	マツモト ヒロキ 松本 洋幸 <令和2年4月> (49) 博士(歴史学)	社会の探究C-I(近代を問います) 社会の探究C-II(近代を問います) 社会の探究C-III(近代を問います)												
兼任	教授	ヤマダ 尚也 古田 尚也 <令和2年4月> (52) 修士(農学)	自然の探究A-I(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-II(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-III(地球サステイナビリティ) 自然の探究B-I(グリーンインフラ論) 自然の探究B-II(グリーンインフラ論) 自然の探究B-III(グリーンインフラ論)												
兼任	准教授	ミネヤマ 仁男 晶山 仁男 <令和2年4月> (63) 理学士	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI	兼任	准教授	ミネヤマ 仁男 晶山 仁男 <令和2年4月> (63) 理学士	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI								
兼任	講師	ヒゲタ 岳史 日下田 岳史 <令和2年4月> (38) 博士(教育学)	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI												
兼任	教授	タカハラ 正之 高原 正之 <令和2年4月> (65) 修士(経済学)	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI 社会福祉調査論	兼任	教授	タカハラ 正之 高原 正之 <令和2年4月> (65) 修士(経済学)	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI 社会福祉調査論								
兼任	准教授	タニシマ エミ 田島 恵美 <令和2年4月> (55) 博士(社会学)	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI	兼任	准教授	タニシマ エミ 田島 恵美 <令和2年4月> (55) 博士(社会学)	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI								
兼任	教授	タカハシ 秀裕 高橋 秀裕 <令和2年4月> (65) 博士(学術)	データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI												
兼任	講師	ナカノ 和哉 中野 和哉 <令和2年4月> (47) 学士(法学)	社会の探究E-I(ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-II(ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-III(ソーシャルメディアの言語技術)												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	助教	カガマ リコ 中島 紀子 <令和2年4月> (56) 修士(文学)		兼任	助教	カガマ リコ 中島 紀子 <令和2年4月> (56) 修士(文学)									
		社会の探究E-I(ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-II(ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-III(ソーシャルメディアの言語技術)				社会の探究E-I(ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-II(ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-III(ソーシャルメディアの言語技術)									
兼任	講師	タケノコ 幸哉 竹内 幸哉 <令和2年4月> (53) 修士(情報科学)		兼任	講師	タケノコ 幸哉 竹内 幸哉 <令和2年4月> (53) 修士(情報科学)									
		社会の探究D-I(社会の課題を解決する力) 社会の探究D-II(社会の課題を解決する力) 社会の探究D-III(社会の課題を解決する力) コミュニケーションIII				社会の探究D-I(社会の課題を解決する力) 社会の探究D-II(社会の課題を解決する力) 社会の探究D-III(社会の課題を解決する力) コミュニケーションIII 人間の探究A-I(哲学する人間) 人間の探究A-II(哲学する人間) 人間の探究A-III(哲学する人間) 自然の探究B-I(グリーンインフラ論) 自然の探究B-II(グリーンインフラ論) 自然の探究B-III(グリーンインフラ論)									
兼任	講師	シノヅカ ヒサミ 吉次(徳島) 恵美 <令和2年4月> (40) 修士(教育学)													
		人間の探究B-I(学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-II(学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-III(学び方とリベラルアーツ)													
兼任	講師	ナカノ 光之介 中塚 光之介 <令和2年4月> (50) 学士(文学)		兼任	講師	ナカノ 光之介 中塚 光之介 <令和2年4月> (50) 学士(文学)									
		人間の探究C-I(幸福についての人生論) 人間の探究C-II(幸福についての人生論) 人間の探究C-III(幸福についての人生論)				人間の探究C-I(幸福についての人生論) 人間の探究C-II(幸福についての人生論) 人間の探究C-III(幸福についての人生論) 人間の探究D-I(仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-II(仏教的な生き方に学ぶ) 人間の探究D-III(仏教的な生き方に学ぶ) 社会の探究E-I(ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-II(ソーシャルメディアの言語技術) 社会の探究E-III(ソーシャルメディアの言語技術) 自然の探究B-I(グリーンインフラ論) 自然の探究B-II(グリーンインフラ論) 自然の探究B-III(グリーンインフラ論) データサイエンスI データサイエンスII									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	講師	クハビ ヒロキ 丹波 博紀 <令和2年4月> (40) 修士(地域研究)	講師	クハビ ヒロキ 丹波 博紀 <令和2年4月> (40) 修士(地域研究)	講師	クハビ ヒロキ 丹波 博紀 <令和2年4月> (40) 修士(地域研究)	講師	クハビ ヒロキ 丹波 博紀 <令和2年4月> (40) 修士(地域研究)
		自然の探究A-I(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-II(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-III(地球サステイナビリティ)		自然の探究A-I(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-II(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-III(地球サステイナビリティ) 人間の探究C-I(幸福についての人生論) 人間の探究C-II(幸福についての人生論) 人間の探究C-III(幸福についての人生論) 社会の探究A-I(共生社会) 社会の探究A-II(共生社会) 社会の探究A-III(共生社会) データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII		自然の探究A-I(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-II(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-III(地球サステイナビリティ) 人間の探究F-I(現代アートの人間学) 人間の探究F-II(現代アートの人間学) 人間の探究F-III(現代アートの人間学)		自然の探究A-I(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-II(地球サステイナビリティ) 自然の探究A-III(地球サステイナビリティ)
兼任	講師	サカミ ヒロコ 堀上 晶子 <令和2年4月> (56) 文学士	講師	サカミ ヒロコ 堀上 晶子 <令和2年4月> (56) 文学士	講師	サカミ ヒロコ 堀上 晶子 <令和2年4月> (56) 文学士	講師	サカミ ヒロコ 堀上 晶子 <令和2年4月> (56) 文学士
		人間の探究C-I(幸福についての人生論) 人間の探究C-II(幸福についての人生論) 人間の探究C-III(幸福についての人生論)		人間の探究F-I(現代アートの人間学) 人間の探究F-II(現代アートの人間学) 人間の探究F-III(現代アートの人間学)		人間の探究C-I(幸福についての人生論) 人間の探究C-II(幸福についての人生論) 人間の探究C-III(幸福についての人生論)		人間の探究C-I(幸福についての人生論) 人間の探究C-II(幸福についての人生論) 人間の探究C-III(幸福についての人生論)
兼任	講師	アマノ ケイコ 天野 敬子 <令和4年4月> (61) 修士(社会福祉学)	講師	アマノ ケイコ 天野 敬子 <令和4年4月> (61) 修士(社会福祉学)	講師	アマノ ケイコ 天野 敬子 <令和4年4月> (61) 修士(社会福祉学)	講師	アマノ ケイコ 天野 敬子 <令和4年4月> (61) 修士(社会福祉学)
		スクールソーシャルワーク論		スクールソーシャルワーク論		スクールソーシャルワーク論		スクールソーシャルワーク論
兼任	講師	イダノ ケイコ 飯田 邦男 <令和3年4月> (66) 学士(教育学)	講師	イダノ ケイコ 飯田 邦男 <令和3年4月> (66) 学士(教育学)	講師	イダノ ケイコ 飯田 邦男 <令和3年4月> (66) 学士(教育学)	講師	イダノ ケイコ 飯田 邦男 <令和3年4月> (66) 学士(教育学)
		司法福祉論		司法福祉論		司法福祉論		司法福祉論
兼任	講師	イマヰ シン 今井 伸 <令和3年4月> (53) 修士(文学)	講師	イマヰ シン 今井 伸 <令和3年4月> (53) 修士(文学)	講師	イマヰ シン 今井 伸 <令和3年4月> (53) 修士(文学)	講師	イマヰ シン 今井 伸 <令和3年4月> (53) 修士(文学)
		公的扶助論 就労支援論		公的扶助論 就労支援論		公的扶助論 就労支援論		公的扶助論 就労支援論
兼任	講師	エフゼン サトミ 越前 聡美 <令和4年4月> (32) 修士(社会福祉学)	講師	エフゼン サトミ 越前 聡美 <令和4年4月> (32) 修士(社会福祉学)	講師	エフゼン サトミ 越前 聡美 <令和4年4月> (32) 修士(社会福祉学)	講師	エフゼン サトミ 越前 聡美 <令和4年4月> (32) 修士(社会福祉学)
		社会福祉史		社会福祉史		社会福祉史		社会福祉史
兼任	講師	オウヘ 恵 奥 恵恵 <令和3年9月> (37) 修士(社会福祉学)	講師	オウヘ 恵 奥 恵恵 <令和3年9月> (37) 修士(社会福祉学)	講師	オウヘ 恵 奥 恵恵 <令和3年9月> (37) 修士(社会福祉学)	講師	オウヘ 恵 奥 恵恵 <令和3年9月> (37) 修士(社会福祉学)
		ソーシャルワーク演習II ソーシャルワーク演習III		ソーシャルワーク演習II ソーシャルワーク演習III		ソーシャルワーク演習II ソーシャルワーク演習III		ソーシャルワーク演習II ソーシャルワーク演習III
兼任	講師	カハシ タカ 河村 健夫 <令和3年9月> (48) 法学士	講師	カハシ タカ 河村 健夫 <令和3年9月> (48) 法学士	講師	カハシ タカ 河村 健夫 <令和3年9月> (48) 法学士	講師	カハシ タカ 河村 健夫 <令和3年9月> (48) 法学士
		福祉法学		福祉法学		福祉法学		福祉法学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	講師	ナガリ 詩 藤川 有紀 <令和2年4月> (59) 高等学校卒業								
		人間の探究F-I (現代アートの人間学) 人間の探究F-II (現代アートの人間学) 人間の探究F-III (現代アートの人間学)								
兼任	講師	エイト リョウ子 榎本 了巻 <令和2年4月> (73) 文学士								
		人間の探究F-I (現代アートの人間学) 人間の探究F-II (現代アートの人間学) 人間の探究F-III (現代アートの人間学)								
兼任	講師	ナガノ マチ 中島 ゆき <令和2年4月> (51) 修士(政策学)								
		データサイエンスI データサイエンスII データサイエンスIII データサイエンスIV データサイエンスV データサイエンスVI								
兼任	講師	マイケル アラン キャドマン Michael Allan Cadman <令和2年4月> (51) 学士								
		英語I 英語II 英語III								
兼任	講師	タカ フミ 田中 ちよ子 <令和2年4月> (47) 博士(文学)								
		英語I 英語II 英語III								
兼任	講師	イサキ ミチ 石川 めぐみ <令和2年4月> (39) 修士(学術)								
		英語I 英語II 英語III								
兼任	講師	アキ マコ 秋田 万里子 <令和2年4月> (33) 修士(文学)								
		英語I 英語II 英語III								
兼任	講師	マカ ミチ 大塚 通子 <令和2年4月> (65) 修士(学術)								
		英語I 英語II 英語III								
兼任	講師	タカフミ 詩 杉崎 美生 <令和2年4月> (44) 修士(文学)								
		英語I 英語II 英語III								
兼任	講師	ギョウ レイ子 牛 黎濤 <令和2年4月> (58) 博士(仏教学)	兼任	講師	ギョウ レイ子 牛 黎濤 <令和2年4月> (58) 博士(仏教学)					
		中国語I 中国語II 中国語III			中国語I 中国語II 中国語III					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	講師	カ イケイ 孔 令敬 <令和2年4月> (64) 修士(文学)						
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ						
兼任	講師	アヲウコ サイラ (アラウコ・ウエゾ ジャケリン・サイラ) <令和2年4月> (36) 文学士	兼任	講師	アヲウコ サイラ (アラウコ・ウエゾ ジャケリン・サイラ) <令和2年4月> (36) 文学士			
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ			フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ			
兼任	講師	マシロ ヒロシ 大森 宏 <令和2年4月> (62) 博士(農学)						
		自然の探究A-Ⅰ (地球サステナビリティ) 自然の探究A-Ⅱ (地球サステナビリティ) 自然の探究A-Ⅲ (地球サステナビリティ)						
兼任	講師	ハシガ ショコ 橋田 祥子 <令和2年4月> (56) 博士(農学)						
		自然の探究B-Ⅰ (グリーンインフラ論) 自然の探究B-Ⅱ (グリーンインフラ論) 自然の探究B-Ⅲ (グリーンインフラ論)						
			兼任	教授	前田 長子 マエタ ナガコ <令和2年4月> (52) 学士(文学)			
					人間の探究C-Ⅰ (幸福についての人生論) 人間の探究C-Ⅱ (幸福についての人生論) 人間の探究C-Ⅲ (幸福についての人生論) データサイエンスⅠ データサイエンスⅡ データサイエンスⅢ			
			兼任	講師	オシロ クチ 尾白 克子 オシロ カチ <令和2年4月> (50) 修士(工学)			
					データサイエンスⅠ データサイエンスⅡ データサイエンスⅢ			
			兼任	講師	タカハシ タカアキ 渡辺 隆明 タカハシ タカアキ <令和2年4月> (35) 修士(文学)			
					人間の探究A-Ⅰ (哲学する人間) 人間の探究A-Ⅱ (哲学する人間) 人間の探究A-Ⅲ (哲学する人間)			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
				兼任	講師	岡本 名津子 オカモト ナツコ <令和2年4月> (49) 修士(臨床心理学)	人間の探究B-I (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-II (学び方とリベラルアーツ) 人間の探究B-III (学び方とリベラルアーツ)								
				兼任	講師	田島悠史 タジマ ユウジ <令和2年4月> (38) 博士(政策・メディア)	人間の探究F-I (現代アートの人間学) 人間の探究F-II (現代アートの人間学) 人間の探究F-III (現代アートの人間学)								
				兼任	講師	三木柚香 ミキ ユウコ <令和2年4月> (35) 修士(教育学)	社会の探究A-I (共生社会) 社会の探究A-II (共生社会) 社会の探究A-III (共生社会) 自然の探究A-I (地球サステナビリティ) 自然の探究A-II (地球サステナビリティ) 自然の探究A-III (地球サステナビリティ)								
				兼任	講師	福井 敬 フクイ タカシ <令和2年4月> (32) 修士(文学)	社会の探究A-I (共生社会) 社会の探究A-II (共生社会) 社会の探究A-III (共生社会)								
				兼任	講師	青田潤一 アオタ ジュンイチ <令和2年4月> (51) 修士(哲学)	社会の探究B-I (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-II (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-III (超スマート社会の光と影) 自然の探究B-I (グリーンインフラ論) 自然の探究B-II (グリーンインフラ論) 自然の探究B-III (グリーンインフラ論)								
				兼任	講師	深田 英孝 フカダ ヒデタカ <令和2年4月> (61) 学士(法学)	社会の探究B-I (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-II (超スマート社会の光と影) 社会の探究B-III (超スマート社会の光と影)								

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	伊藤 陽平 イトウ ヨウヘイ <令和2年4月> (28) 博士(歴史学)						
					社会の探究C-I (近代を問 い直す) 社会の探究C-II (近代を問 い直す) 社会の探究C-III (近代を問 い直す)						
			兼任	講師	山田 俊弘 ヤマダ トシヒロ <令和2年4月> (64) 博士(学術)						
					自然の探究A-I (地球サス テナビリティ) 自然の探究A-II (地球サス テナビリティ) 自然の探究A-III (地球サス テナビリティ)						
			兼任	講師	猪口 智広 イノクチ トモヒロ <令和2年4月> (29) 修士(学際情報学)						
					自然の探究A-I (地球サス テナビリティ) 自然の探究A-II (地球サス テナビリティ) 自然の探究A-III (地球サス テナビリティ)						
			兼任	講師	服部 眞幸 ハットリ マサユキ <令和2年4月> (55) 修士(農学)						
					自然の探究B-I (グリーン インフラ論) 自然の探究B-II (グリーン インフラ論) 自然の探究B-III (グリーン インフラ論)						
			兼任	講師	橋本 垂友樹 ハシモト アユキ <令和2年4月> (42) 修士(農学)						
					自然の探究B-I (グリーン インフラ論) 自然の探究B-II (グリーン インフラ論) 自然の探究B-III (グリーン インフラ論)						
			兼任	講師	角田 季美枝 ツノダ キミエ <令和2年4月> (61) 博士(学術)						
					自然の探究B-I (グリーン インフラ論) 自然の探究B-I (グリーン インフラ論) 自然の探究B-I (グリーン インフラ論)						
			兼任	教授	伊藤 淑子 イトウ ヨシコ <令和2年4月> (60) 博士(文学)						
					英語 I 英語 II 英語 III						
			兼任	准教授	天本 勇樹 アマキ ユウキ <令和2年4月> (42) 博士(教育学)						
					英語 I 英語 II 英語 III						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
			兼任 講師	行森まさみ ユキモリ マサミ <令和2年4月> (44) 博士(異文化コミュニケーション学)				
				英語 I 英語 II 英語 III				
			兼任 講師	香原ちさと コウハラ テサト <令和2年4月> (60) 学士(英文学)				
				英語 I 英語 II 英語 III				
			兼任 講師	ケビンスコット <令和2年4月> (34) 修士(人文学)				
				英語 I 英語 II 英語 III				
			兼任 講師	レスリーコーブランド <令和2年4月> (46) 学士(心理学及び英語学)				
				英語 I 英語 II 英語 III				
			兼任 講師	保谷朋子 ホヤ トモコ <令和2年4月> (34) 修士(文学)				
				英語 I 英語 II 英語 III				
			兼任 講師	谷村久美子 タニムラ クミコ <令和2年4月> (61) 修士(哲学)				
				英語 I 英語 II 英語 III				
			兼任 講師	マークストーンブーク <令和2年4月> (52) 修士(MBA)				
				英語 I 英語 II 英語 III				
			兼任 講師	田野原哲郎 タジリ テツロウ <令和2年4月> (54) 修士(学術)				
				英語 I 英語 II 英語 III				
			兼任 講師	内藤貴子 ナイトウ タカコ <令和2年4月> (44) 修士(文学)				
				英語 I 英語 II 英語 III				
			兼任 講師	近藤真理 コンドウ マリ <令和2年4月> (35) 修士(文学)				
				英語 I 英語 II 英語 III				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
				兼任	講師	杉崎美生 スギザキ ミキ <令和2年4月> (44) 修士(文学)									
						英語 I 英語 II 英語 III									
				兼任	講師	下島義容 シモジマ ヨシタカ <令和2年4月> (47) 修士(言語教育)									
						英語 I 英語 II 英語 III									
				兼任	講師	湊紅 チン ホイ <令和2年4月> (62) 博士(文学)									
						中国語 I 中国語 II 中国語 III									
				兼任	講師	徐迎新 ジョ ゲイン <令和2年4月> (64) 修士(文学)									
						中国語 I 中国語 II 中国語 III									
				兼任	講師	平石淑子 ヒライシ ヨシコ <令和2年4月> (68) 修士(文学)									
						中国語 I 中国語 II 中国語 III									
				兼任	講師	都馬ナブチ トバ ナブチ <令和2年4月> (55) 修士(文学)									
						中国語 I 中国語 II 中国語 III									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**届出時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目
		計	#VALUE!	科目	計	##### 科目	計	##### 科目	計	##### 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	1	1	0	8	0	6	1	1	0	8	0
(6)	(1)	(1)	(0)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	1	1	0	8	0	6	1	1	0	8	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜社会共生学部 社会福祉学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
第1・第2クォーター(4/6～7/23)。	新型コロナウイルス感染への対応のため第1・第2クォーターを(4/6～7/23)から(5/11～9/19)へ変更し、5/11～7/18をオンライン授業期間、8/31～9/19を対面授業期間とした。(P75, P76参照)この学事日程変更に伴い、シラバスも変更した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合学修支援機構DAC ②学生生活委員会障がい学生支援部会 <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合学修支援機構副機構長、学長補佐、総合学修支援機構職員3名、総合学修支援機構顧問 ②学長補佐、各学部教員1名、入試課・教務課・学生課・就職課・図書情報課職員各1名 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教育改善のためのファカルティ・ディベロップメント(FD)の推進 ②障がい有する学生の支援に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回全学FDセミナー「学習理論を基盤にした授業設計」 ・第7回全学FDセミナー「シラバス研修会」「著作権研修会」ワークショップ及び講演 ・学生相談室から見た相談と支援の現状について <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ及び講演(外部講師による全教員・事務職員対象(任意参加)の研修会実施) ・外部講師による講演・ワークショップの他、教学マネジメント体制・危機管理・研究支援等の説明。 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8回全学FDセミナー「学習理論を基盤にした授業設計」 令和元年5月29日(水) 15:00～17:30 125名 ・第9回全学FDセミナー「成績評価基準について」 令和元年11月27日(水) 15:00～17:30 134名 ・学生相談室から見た相談と支援の現状について 令和元年12月18日(水) 10:50～12:20 27名 ・新任教員FD研修会 令和2年3月3日(火)・3月4日(水) 10:00～17:00 17名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

翌年度の授業設計、成績評価等について、シラバス記入を含めて各教員が改善を行うように学科会議等において検討していくこととなった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学における、学生による授業評価アンケートは、組織的なFD活動の一環として実施。

このアンケートはPDCAサイクルのCheck部分にあたり、授業毎の具体的な効果や問題点を把握し、教育改善に役立てていくことを目的とする。

(実施期間)

- ・第1クォーター：令和元年5月28日(火)～6月10日(月)
- ・第2クォーター・セメスター(春学期)：令和元年7月11日(木)～8月5日(月)
- ・秋学期・第4クォーター：令和2年1月6日(月)～1月27日(月)

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施済みアンケート用紙を委託事業者が回収し、集計する。

集計結果は教員配付用資料として、委託事業者より各教員へ郵送するとともに、冊子にまとめて刊行の上、教員に配付している。

教育に関する評価部会において実際の教育活動に資する具体的なフィードバック方法の検討や、次年度実施に向けての改善点に関する検討が行われている。

学生をはじめとした社会への公開については、本アンケートの趣旨、実施要項、調査票を明示したうえ、ホームページにおいて集計結果を公表している。

なお、学生には、学習ポータルサイト(T-po)における周知・連絡も実施している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人間学部の改組を行い、社会共生学部を設置する。大学の理念・目的に照らしながら、人間学部において設定していた目的や養成する人材像を、昨今の社会構造の変化や求めに則した目的に刷新し、社会共生の理念の下で社会や地域が抱える諸課題を解決に導く人材を育成する予定である。社会共生学部は、社会や地域におけるさまざまな公共的課題を解決するための方法や技術を学ぶ公共政策学科と、医療・福祉・教育など幅広い分野で支援を必要としている人の相談・援助を行うソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士）を養成する社会福祉学科の2学科として、上記理念を踏まえた募集活動を行い、公共政策学科は127名の学生を受け入れた。本学科が目指す人材育成像と教育目標が、受験生に評価された結果であると考えている。今後は、届出時の教育内容を確実に履行し、上記の設置の趣旨・目的の達成を目指す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年3月26日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公表 (<https://www.tais.ac.jp/common/doc/guide/estimation/jikotenken-2019.pdf>)。
- ・大学自己点検・評価委員会及びメールによる事務連絡（全教職員対象）において公表を周知。

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和2年に評価機関（大学基準協会）の評価を受審する予定であり、令和2年3月27日に評価資料を提出した。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

令和2年度 授業日程表

・緑色○印の数字がセメスター制授業日程
 ・青色○印の数字がクォーター制授業日程

日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	RE	25 在学生 健診	26 在学生 健診	27 院G	28
29	在学生 学科別G	30	31				

日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	RE	16	17	18	19
20	21	22	在学生G	23	24	25	① ① 26
27	① ① 28	① ① 29	① ① 30				

日	月	火	水	木	金	土				
			入学式	1	基礎学力 編入G	2	新入生G	3	新入生健 診	4
5	新入生G	6	新入生G	7	新入生G	8	① ① 9	① ① 10	① ① 11	
12	① ① 13	① ① 14	① ① 15	② ② 16	② ② 17	② ② 18				
19	② ② 20	② ② 21	② ② 22	③ ③ 23	③ ③ 24	③ ③ 25				
26	③ ③ 27	③ ③ 28	③ ③ 29	休講日	30					

日	月	火	水	木	金	土
				① ① 1	① ① 2	② ② 3
4	② ② 5	② ② 6	② ② 7	② ② 8	② ② 9	③ ③ 10
11	③ ③ 12	③ ③ 13	③ ③ 14	③ ③ 15	③ ③ 16	④ ④ 17
18	④ ④ 19	④ ④ 20	④ ④ 21	④ ④ 22	④ ④ 23	⑤ ⑤ 24
25	⑤ ⑤ 26	⑤ ⑤ 27	⑤ ⑤ 28	⑤ ⑤ 29	⑤ ⑤ 30	⑥ ⑥ 31

日	月	火	水	木	金	土		
					休講日	1	休講日	2
3	4	5	6	④ ④ 7	④ ④ 8	④ ④ 9		
10	④ ④ 11	④ ④ 12	④ ④ 13	⑤ ⑤ 14	⑤ ⑤ 15	⑤ ⑤ 16		
17	⑤ ⑤ 18	⑤ ⑤ 19	⑤ ⑤ 20	⑥ ⑥ 21	⑥ ⑥ 22	⑥ ⑥ 23		
24	⑥ ⑥ 25	⑥ ⑥ 26	⑥ ⑥ 27	⑦ ⑦ 28	⑦ ⑦ 29	⑦ ⑦ 30		
31								

日	月	火	水	木	金	土					
1	⑥ ⑥ 2	⑥ ⑥ 3	⑥ ⑥ 4	⑥ ⑥ 5	⑥ ⑥ 6	⑦ ⑦ 7					
8	⑦ ⑦ 9	⑦ ⑦ 10	⑦ ⑦ 11	⑦ ⑦ 12	⑦ ⑦ 13	① ⑧ 14					
15	① ⑧ 16	休講日	17	休講日	18	休講日	19	休講日	20	鴨台祭	21
鴨台祭	22	補講日	23	① ⑧ 24	① ⑧ 25	① ⑧ 26	① ⑧ 27	② ⑨ 28	追試験日	28	
29	② ⑨ 30										

日	月	火	水	木	金	土	
	⑦ ⑦ 1	⑦ ⑦ 2	⑦ ⑦ 3	補講日	4	① ⑧ 5	① ⑧ 6
7	① ⑧ 8	① ⑧ 9	① ⑧ 10	① ⑧ 11	② ⑨ 12	② ⑨ 13	
14	② ⑨ 15	② ⑨ 16	② ⑨ 17	② ⑨ 18	③ ⑩ 19	③ ⑩ 20	
21	③ ⑩ 22	③ ⑩ 23	③ ⑩ 24	③ ⑩ 25	④ ⑪ 26	④ ⑪ 27	
28	④ ⑪ 29	④ ⑪ 30					

日	月	火	水	木	金	土
		② ⑨ 1	② ⑨ 2	② ⑨ 3	② ⑨ 4	③ ⑩ 5
6	③ ⑩ 7	③ ⑩ 8	③ ⑩ 9	③ ⑩ 10	③ ⑩ 11	④ ⑪ 12
13	④ ⑪ 14	④ ⑪ 15	④ ⑪ 16	④ ⑪ 17	④ ⑪ 18	⑤ ⑫ 19
20	⑤ ⑫ 21	⑤ ⑫ 22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土	
			④ ⑪ 1	④ ⑪ 2	⑤ ⑫ 3	⑤ ⑫ 4	
5	⑤ ⑫ 6	⑤ ⑫ 7	⑤ ⑫ 8	⑤ ⑫ 9	⑥ ⑬ 10	⑥ ⑬ 11	
12	⑥ ⑬ 13	⑥ ⑬ 14	⑥ ⑬ 15	⑥ ⑬ 16	⑦ ⑭ 17	⑦ ⑭ 18	
19	⑦ ⑭ 20	⑦ ⑭ 21	⑦ ⑭ 22	⑦ ⑭ 23	補講日	24	25
26	27	28	29	追試験日	30	31	

日	月	火	水	木	金	土				
					1	2				
3	4	5	⑤ ⑫ 6	⑤ ⑫ 7	⑤ ⑫ 8	⑥ ⑬ 9				
10	11	⑥ ⑬ 12	⑥ ⑬ 13	⑥ ⑬ 14	⑥ ⑬ 15	休講日	16			
17	⑥ ⑬ 18	⑦ ⑭ 19	⑦ ⑭ 20	⑦ ⑭ 21	⑦ ⑭ 22	⑦ ⑭ 23				
24	⑦ ⑭ 25	補講日	26	補講日 口述試問	27	口述試問	28	口述試問	29	30
31										

日	月	火	水	木	金	土	
						1	
2	3	4	5	6	成績締切	7	8
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	追試験日	4	5	6
7	成績締切	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28							

【備考】

冬期休業期間(12/24~1/5)は授業期間として計上しない。

※入学式、入試日、健康診断日、ガイダンス日は現在調整中のため、変更する場合があります。

【祝日開講】

- ・4月29日(昭和の日)
- ・7月23日(海の日)
- ・7月24日(スポーツの日)
- ・11月3日(文化の日)
- ・11月23日(勤労感謝の日)

【集中講義期間】

・9月10日~9月25日

令和2年度 授業日程表【改訂版】

・緑色○印の数字がセメスター制授業日程
 ・青色○印の数字がクォーター制授業日程

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
		④ ⑪ 1	④ ⑪ 2	④ ⑪ 3	④ ⑪ 4	④ ⑪ 5
6	⑤ ⑫ 7	⑤ ⑫ 8	⑤ ⑫ 9	⑤ ⑫ 10	⑤ ⑫ 11	⑤ ⑫ 12
13	⑥ ⑬ 14	⑥ ⑬ 15	⑥ ⑬ 16	⑥ ⑬ 17	⑥ ⑬ 18	⑥ ⑬ 19
20	21	22	在学生G 23	24	25	① ① 26
27	① ① 28	① ① 29	① ① 30			

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
				① ① 1	① ① 2	② ② 3
4	② ② 5	② ② 6	② ② 7	② ② 8	② ② 9	③ ③ 10
11	③ ③ 12	③ ③ 13	③ ③ 14	③ ③ 15	③ ③ 16	④ ④ 17
18	④ ④ 19	④ ④ 20	④ ④ 21	④ ④ 22	④ ④ 23	⑤ ⑤ 24
25	⑤ ⑤ 26	⑤ ⑤ 27	⑤ ⑤ 28	⑤ ⑤ 29	⑤ ⑤ 30	⑥ ⑥ 31

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	① ① 11	① ① 12	① ① 13	① ① 14	① ① 15	① ① 16
17	② ② 18	② ② 19	② ② 20	② ② 21	② ② 22	② ② 23
24	③ ③ 25	③ ③ 26	③ ③ 27	③ ③ 28	③ ③ 29	③ ③ 30
31						

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	⑥ ⑥ 2	⑥ ⑥ 3	⑥ ⑥ 4	⑥ ⑥ 5	⑥ ⑥ 6	⑦ ⑦ 7
8	⑦ ⑦ 9	⑦ ⑦ 10	⑦ ⑦ 11	⑦ ⑦ 12	⑦ ⑦ 13	① ⑧ 14
15	① ⑧ 16	17	18	19	20	21
22	23	① ⑧ 24	① ⑧ 25	① ⑧ 26	① ⑧ 27	② ⑨ 28
29	② ⑨ 30					

6月

日	月	火	水	木	金	土
	④ ④ 1	④ ④ 2	④ ④ 3	④ ④ 4	④ ④ 5	④ ④ 6
7	⑤ ⑤ 8	⑤ ⑤ 9	⑤ ⑤ 10	⑤ ⑤ 11	⑤ ⑤ 12	⑤ ⑤ 13
14	⑥ ⑥ 15	⑥ ⑥ 16	⑥ ⑥ 17	⑥ ⑥ 18	⑥ ⑥ 19	⑥ ⑥ 20
21	⑦ ⑦ 22	⑦ ⑦ 23	⑦ ⑦ 24	⑦ ⑦ 25	⑦ ⑦ 26	⑦ ⑦ 27
28	① ⑧ 29	① ⑧ 30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
		② ⑨ 1	② ⑨ 2	② ⑨ 3	② ⑨ 4	③ ⑩ 5
6	③ ⑩ 7	③ ⑩ 8	③ ⑩ 9	③ ⑩ 10	③ ⑩ 11	④ ⑪ 12
13	④ ⑪ 14	④ ⑪ 15	④ ⑪ 16	④ ⑪ 17	④ ⑪ 18	⑤ ⑫ 19
20	⑤ ⑫ 21	⑤ ⑫ 22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

7月

日	月	火	水	木	金	土
			① ⑧ 1	① ⑧ 2	① ⑧ 3	① ⑧ 4
5	② ⑨ 6	② ⑨ 7	② ⑨ 8	② ⑨ 9	② ⑨ 10	② ⑨ 11
12	③ ⑩ 13	③ ⑩ 14	③ ⑩ 15	③ ⑩ 16	③ ⑩ 17	③ ⑩ 18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	⑤ ⑫ 6	⑤ ⑫ 7	⑤ ⑫ 8	⑥ ⑬ 9
10	11	⑥ ⑬ 12	⑥ ⑬ 13	⑥ ⑬ 14	⑥ ⑬ 15	16
17	⑥ ⑬ 18	⑦ ⑭ 19	⑦ ⑭ 20	⑦ ⑭ 21	⑦ ⑭ 22	⑦ ⑭ 23
24	⑦ ⑭ 25	26	27	28	29	30
31						

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	④ ⑪ 31					

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

【祝日開講】
 ・11月3日(文化の日)
 ・11月23日(勤労感謝の日)

【集中講義期間】
 期間については調整中

5月11日から7月18日 オンライン授業
 8月31日から9月19日 通常授業

●授業時間割

1時限	100分	09:00~10:40
2時限	100分	10:50~12:30
昼休み	50分	12:30~13:20
3時限	100分	13:20~15:00
4時限	100分	15:10~16:50
5時限	50分	17:00~17:50
	(50分)	17:50~18:40
N1	100分	18:00~19:40
N2	100分	19:50~21:30

5時限目は50分+50分の授業を行う場合があります。

N1・N2は大学院科目開講時間

総合学修支援機構DAC規程

令和元年7月1日
改正 令和元年11月1日

目次

- 第1条 (趣旨)
- 第2条 (目的)
- 第3条 (所管業務)
- 第4条 (検証・評価)
- 第5条 (組織)
- 第6条 (機構長)
- 第7条 (副機構長)
- 第8条 (職員)
- 第9条 (顧問)
- 第10条 (客員教員)
- 第11条 (客員研究員)
- 第12条 (管理・運営)
- 第13条 (DAC運営協議会)
- 第14条 (管掌)
- 第15条 (改廃)

附 則

(趣旨)

第1条 この規程は、大正大学学則第9条の3の規定に基づき、総合学修支援機構DAC(以下「本機構」という。)の組織及び運営について定める。

(目的)

第2条 本機構は、大正大学(以下「本学」という。)の建学の理念、教育ビジョン及び運営ビジョン具現化のため、学内外を問わず多様な人々が共に学ぶ共同体(ダイバーシティ・エージェンシー・コミュニティ)を構築し、地域や企業等との連携による学修環境(ダイバーシティ・アライアンス・センター)を提供することによって、本学の社会的責任(TSR)に基づく教育活動に寄与することを目的とする。

(所管業務)

第3条 本機構は、第2条に定められた目的に基づき、以下の業務を所管する。

- (1) 第I類カリキュラムの企画及び運営
- (2) チューターの養成及び運用
- (3) ラーニングコモンズの活用推進
- (4) 基礎学力の養成
- (5) アントレプレナーシップ教育の企画及び運営
- (6) DACポートフォリオの開発及び運用

(7) 教育改善のためのファカルティ・ディベロップメント(FD)の推進

(8) その他必要と認められるもの

(検証・評価)

第4条 本機構は、本学学則第2条に基づき、第3条に定める所管業務について、TSRマネジメントによる自己点検・評価を行うものとする。

2 自己点検・評価結果の概要は、原則として公表するものとする。

3 自己点検・評価結果の妥当性と客観性を高めるため、外部評価委員会の意見を聴取することができる。

4 自己点検・評価の具体的な運営、方法並びに外部評価委員会については、別に定める。

(組織)

第5条 本機構に、チュートリアル研究室、コミュニケーション研究室及び基礎学力研究室を置く。

2 チュートリアル研究室は、主に第3条第1号、第2号、第3号の業務を所管する。

3 コミュニケーション研究室は、主に第3条第5号の業務を所管する。

4 基礎学力研究室は、主に第3条第1号、第4号の業務を所管する。

(機構長)

第6条 本機構に、機構長を置く。

2 機構長は、学長をもって充てる。

3 機構長は、本機構を代表し、本機構を総理する。

4 機構長の任期は、学長の在任期間とする。

(副機構長)

第7条 本機構に、副機構長を置くことができる。

2 副機構長は、機構長が指名する者をもって充てる。

3 副機構長は、機構長の職務を補佐する。

4 副機構長の任期は、指名した機構長の在任期間とし、再任を妨げない。

(職員)

第8条 第5条の各研究室に次の職員を置く。

(1) 研究室長 各1名

(2) 教育職員 若干名

(3) 研究員 若干名

(4) チューター 若干名

2 前項第1号の職員は、本学専任教職員のうちから機構長が推薦し、理事長が任命する。

3 第1項第1号の職員にあつては、教育職員の場合は教授、事務職員の場合は原則として総合学修支援部長が兼担する。

4 第1項第2号の教育職員は、大正大学教員任免規程に基づき任免する。

5 第1項第3号の研究員の任免については、別に定める。

6 第1項第4号のチューターの任免については、別に定める。

7 第1項第1号の職員の任期は2年とし、再任は妨げない。ただし、任命されたときの機構長のもとでの再任は、当該機構長の任期内に限るものとする。また、任期中に交代したときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第9条 本機構は、第3条、第5条の各号に定める事項を実施するにあたり、その運営に関する助言を得るため、顧問を置くことができる。顧問は、機構長の推薦により理事長が任命する。

(客員教員)

第10条 本機構に、客員教員を置くことができる。

2 前項の客員教員の任免は、大正大学教員任免規程及び大正大学客員教員規程による。

(客員研究員)

第11条 本機構に、客員研究員を置くことができる。

2 前項の客員研究員の任免は、別に定める。

(管理・運営)

第12条 本機構の総合的な管理・運営は、事務局長が統括する。

(DAC運営協議会)

第13条 本機構に、活動計画、組織・人事及び予算作成等の重要事項について審議するための組織としてDAC運営協議会を置き、次の各号に掲げる者をもって構成する。

(1) 学長室会議構成員

(2) 第7条第1項の職員

(3) 第8条第1項第1号の職員

(4) 総合政策部長

(5) 総務部長

(6) 教務部長

(7) 総合学修支援部長

(8) その他機構長が認めた者

2 機構長は、必要に応じて構成員以外の教職員を出席させることができる。

3 大正大学魅力化総合戦略推進本部規程に基づき、第3次中期マスタープランの推進に関する事項については、大正大学魅力化総合戦略推進本部に報告するものとする。

(管掌)

第14条 この規程の事務管掌は、総合学修支援部総合学修支援課が行う。

(改廃)

第15条 この規程の改廃は、代議員会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、令和元年7月1日より施行する。

附 則

この規程は、令和元年11月1日より施行する。

大正大学教授会各種委員会規程

平成5年4月1日

改正 平成7年4月1日 平成8年4月1日

平成9年4月1日 平成11年4月1日

平成13年4月1日 平成13年11月28日

平成14年12月10日 平成17年4月1日

平成19年4月1日 平成20年4月1日

平成24年4月1日 平成25年4月1日

平成27年4月1日 平成28年4月1日

第1条 この規程は、大正大学教授会規程第10条第2項によりこれを定める。

第2条 各種委員会(以下「委員会」という。)は教授会において選出された委員をもって構成する。構成については別表による。

第3条 委員会は学長の諮問事項及び教授会からの付託事項を審議する。

第4条 委員会には委員長、副委員長各1名を置く。

2 委員長及び副委員長は委員の互選とする。

3 委員長は委員会を招集し、その座長となる。

4 委員長に事故があったときは副委員長がこれを代行する。

第5条 委員会は過半数の委員の出席をもって成立する。

2 委員会の決定は、出席委員の過半数の賛成をもって成立する。ただし、教員資格審査委員会については別に定める。

第6条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、原則2期までとする。

2 補充委員の任期は前任者の残任期間とする。

第7条 委員会に部会を置くことができる。

2 部会には部会長、副部会長各1名を置く。

3 部会長は部会を招集し、その座長となる。

4 部会長に事故があったときは副部会長がこれを代行する。

第8条 教員資格審査委員会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。

(1) 教員の資格審査に関する事項

(2) その他必要な事項

第9条 学生生活委員会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。

(1) 学生の生活相談・保健に関する事項

(2) 学生の福利厚生に関する事項

(3) 学生の課外活動に関する事項

(4) 奨学生推薦に関する事項

(5) 学生の褒賞に関する事項

(6) 学生の綱紀に関する事項

(7) その他必要な事項

第10条 宗教教育・行事運営委員会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 宗門子弟の教育及び実践仏教に関する事項
- (2) 宗教教育及び宗教行事に関する事項
- (3) その他必要な事項

2 宗教教育・行事運営委員会に、同和教育運営部会を置く。

- (1) 同和教育運営部会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。
 - (イ) 同和教育に関する事項
 - (ロ) その他必要な事項

第11条 国際交流委員会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 国外留学を志望する学生の指導及び準備教育
- (2) 協定留学生の指導
- (3) 短期語学研修生及び文化研修生の指導
- (4) 協定校との国際学術交流会議の企画・運営
- (5) 大正大学奨学・奨励制度規程第2条第4号、第5号の奨学生の選考
- (6) その他、国際交流のうえで必要と認められる事項

第12条 学術委員会は次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 学術研究発表に関する事項
- (2) 大学院研究論集発行に関する事項
- (3) 大正大学研究紀要の発行に関する事項
- (4) その他必要な事項

2 前項第2号及び第3号については、別に定める規程による。

第13条 情報化推進委員会は、次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 大学における教育・研究の情報化のための基盤整備並びに実施に関する事項
- (2) 大学における事務情報化の具体的な計画に関する事項
- (3) 学内各部局の行う情報処理業務への提言に関する事項
- (4) 第1号、第3号に関わる予算計画に関する事項
- (5) 大学が設置する情報処理環境の不正使用並びに情報漏洩防止に関する事項
- (6) その他必要な事項

第14条 入試委員会は次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 入試制度に関する事項
- (2) 学生募集・入試広報に関する事項
- (3) 入試の試験問題の出題、作成及び採点に関する事項
- (4) 入試の実施に関する事項
- (5) その他必要な事項

第15条 図書館運営委員会は次の事項を審議し、必要事項を処理する。

- (1) 図書館の運営、制度及び図書館諸規則に関する事項
- (2) 図書館の事業計画・予算に関する事項

(3) 学科図書予算の執行・選書に関する事項

(4) その他必要な事項

第 16 条 教職員衛生管理厚生委員会は次の事項を審議し、必要事項を処理する。

(1) 大学の衛生管理に関する事項

(2) 教職員の待遇に関する事項

(3) 教職員の福利及び厚生に関する事項

(4) 教職員の親睦に関する事項

(5) その他必要な事項

2 前項第1号については、別に定める規程による。

第 17 条 出版会編集委員会は次の事項を審議し、必要事項を処理する。

(1) 出版会会長の諮問に関する事項

(2) 企画に関する事項

(3) その他、出版物に関する事項

第 18 条 委員長は、委員会の審議結果を学長に報告し、学長は、代議員会の議を経て処理する。

第 19 条 各種委員会の事務は、事務局において分掌する。

2 議事録は所管の事務局において作成保管しなければならない。

第 20 条 この規程の改廃は、代議員会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 11 年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 13 年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 13 年 11 月 28 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 14 年 12 月 10 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 17 年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 19 年4月1日から施行する。

2 従前の「教職課程委員会」は廃止する。

附 則

この規程は、平成 20 年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 24 年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 25 年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 27 年4月1日から施行する。

別表

委員会名称	構成員
教員資格審査委員会	各学科に所属する専任教員から各1名。
学生生活委員会	各学科に所属する専任教員から各1名。
宗教教育・行事運営委員会	仏教学部は、各宗派から1名。仏教学部以外は、各学部に所属する専任教員から各1名。
国際交流委員会	日本文学科長、仏教学科長、日本語教育担当教員若干名、海外交流協定校担当教員若干名。
学術委員会	各学部に所属する専任教員から各1名(大学院講義担当有資格者)。
情報化推進委員会	各学部に所属する専任教員から各1名。
入試委員会	各学科に所属する専任教員から各1名。
図書館運営委員会	各学部に所属する専任教員から各1名。
教職員衛生管理厚生委員会	各学部に所属する専任教員から各1名。労働安全衛生法に定められた者1名。
出版会編集委員会	本学専任教員の学術・教育・出版等について経験と識見を有する者若干名。

備考

上記教員選出委員のほか、次の各委員会に事務職員から選出の委員を加え、その構成員とする。()内はその委員数

宗教教育・行事運営委員会(2)、国際交流委員会(2)、学術委員会(2)、情報化推進委員会(6)、入試委員会(2)、図書館運営委員会(2)、教職員衛生管理厚生委員会(2)。

大正大学障がい学生支援部会細則

平成 27 年4月1日

改正 平成 28 年4月1日 平成 28 年6月1日

令和元年7月1日

目 次

第1条 (目的)

第2条 (構成)

第3条 (審議事項)

第4条 (任期)

第5条 (招集・開催・成立)

第6条

第7条

第8条 (管掌)

第9条 (改廃)

附 則

(目的)

第1条 この細則は、大正大学教授会各種委員会規程(以下「委員会規程」という。)第 7 条に基づき、委員会規程第 9 条に定める学生生活委員会の所管する大正大学(以下「本学」という。)の学生支援のうち、特に障がいを有する学生の支援について審議を行う障がい学生支援部会(以下「部会」という。)について必要な事項を定めるものとする。

(構成)

第2条 部会は、学長が指名する本学役職者及び学生生活委員並びに担当部局職員をもって構成する。

- (1) 本学役職者 若干名
- (2) 学生生活委員 各学部 1 名
- (3) 総合政策部入試課職員 1 名
- (4) 教務部職員 1 名
- (5) 学生支援部学生課職員 1 名
- (6) 学生支援部就職課職員 1 名
- (7) 学術推進部図書情報課職員 1 名

2 委員会規程第 7 条第 2 項に定める部会長、副部会長は学長が指名する。

3 部会長は、必要に応じてほかの教職員の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(審議事項)

第3条 部会は、次の事項を審議する。

- (1) 障がいを有する受験生の受入れ体制に関する事項
- (2) 障がいを有する学生の支援に関する事項
- (3) 啓発活動に関する事項

(4) その他障がい有する学生に関する事項

(任期)

第4条 学長が指名する本学役職者の部会における任期は、当該役職の在任期間とする。

2 部会長、副部会長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、部会長、副部会長が任期途中で退任した場合、後任者の任期は、その残任期間とする。

3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(招集・開催・成立)

第5条 部会は、部会長が招集し、主催する。

2 部会長に支障があったときは、副部会長が代行する。

第6条 部会は、必要に応じて随時開催する。

第7条 部会は、過半数の委員の出席をもって成立する。

2 部会の決定は、出席委員の過半数の賛成をもって成立する。

(管掌)

第8条 この細則の事務管掌は、学生支援部学生課が行う。

(改廃)

第9条 この細則の改廃は、学長が行う。

附 則

この細則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成28年6月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和元年7月1日から施行する。